

目 次

資料番号

1	令和3年度春闘 各機関別賃上げ集計状況	(厚生労働省)
2	県内経済情勢報告(令和3年4月判断)	(財務省秋田財務事務所)
3	標準生計費算定方法(令和2年4月の標準生計費算定方法)	(秋田県人事委員会)
4	秋田市における一人世帯標準生計費	(同 上)
5	生活保護基準額(令和2年10月)	(厚生労働省)
6	生活保護基準の推移	(同 上)
7	令和2年 賃金構造基本統計調査(全国)の概況	(同 上)
8	令和2年 秋田市消費者物価指数(年報)	(秋田県調査統計課)
9	消費者物価指数 秋田市(令和3年5月分)	(同 上)
10	秋田県鉱工業生産指数月報(令和3年4月分)	(同 上)
11	毎月勤労統計調査「令和2年平均の概況(秋田県)」	(同 上)
12	毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和3年4月分)	(同 上)
13	秋田県内の雇用情勢(令和3年5月分)	(秋田労働局職業安定課)
14	県内金融経済概況(2021年7月21日)	(日本銀行秋田支店)
15	秋田県内「全国企業短期経済観測調査」結果(2021年6月調査)	(同 上)

平成27年基準 消費者物価指数
秋田市 令和3年5月分

1. 秋田市の概況

- (1) 総合指数は平成27年を100として **102.6**
前月比は 0.2% の上昇 前年同月比は 0.2% の上昇
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は **102.4**
前月比は 0.1% の下落 前年同月比は 0.5% の上昇
- (3) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は **102.1**
前月比は 0.2% の下落 前年同月比は 0.4% の下落

図1 総合指数の動き（秋田市）

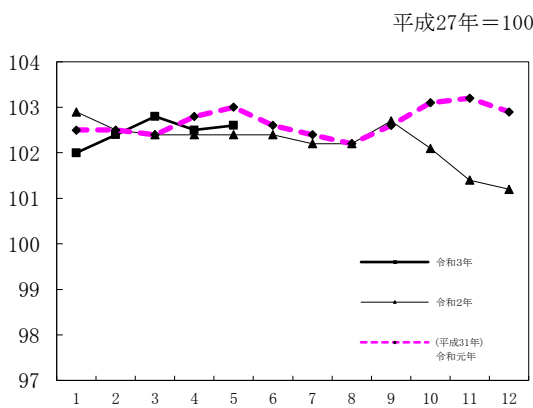


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き（秋田市）

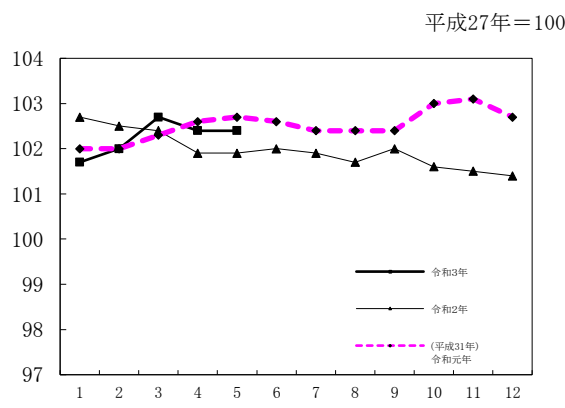


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き（秋田市）

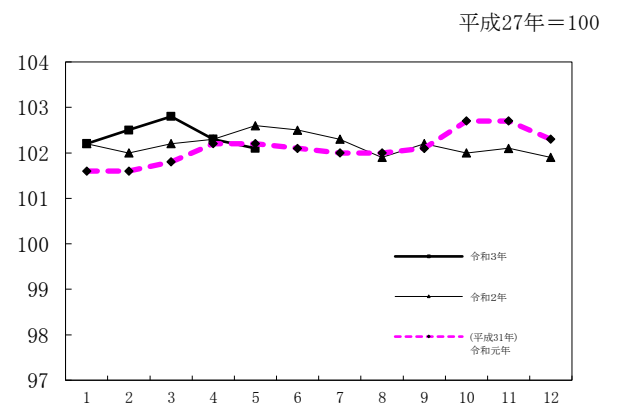


表1 総合、生鮮食品を除く総合、生鮮食品及びエネルギーを除く総合の指数、前月比及び前年同月比（秋田市）

		令和3年												
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
総合	指数	102.4	102.4	102.2	102.2	102.7	102.1	101.4	101.2	102.0	102.4	102.8	102.5	102.6
	前月比	▲ 0.1	0.0	▲ 0.2	0.1	0.5	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7	0.4	0.4	▲ 0.3	0.2
	前年同月比	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.2	0.0	0.1	▲ 0.9	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 0.9	▲ 0.2	0.3	0.0	0.2
生鮮食品を除く総合	指数	101.9	102.0	101.9	101.7	102.0	101.6	101.5	101.4	101.7	102.0	102.7	102.4	102.4
	前月比	0.0	0.1	▲ 0.1	▲ 0.2	0.3	▲ 0.4	0.0	▲ 0.1	0.3	0.4	0.6	▲ 0.2	▲ 0.1
	前年同月比	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 1.5	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 0.4	0.3	0.5	0.5
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	102.6	102.5	102.3	101.9	102.2	102.0	102.1	101.9	102.2	102.5	102.8	102.3	102.1
	前月比	0.3	0.0	▲ 0.2	▲ 0.4	0.3	▲ 0.2	0.1	▲ 0.2	0.3	0.2	0.4	▲ 0.5	▲ 0.2
	前年同月比	0.4	0.4	0.3	▲ 0.1	0.1	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 0.4	0.0	0.5	0.7	0.0	▲ 0.4

2. 前月との比較

表2 10大費目指数、前月比及び寄与度

(平成27年=100)

10大費目	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	102.6	106.4	102.0	102.5	103.5	105.4	105.1	95.9	101.4	104.1	98.3
前月比(%)	0.2	0.5	▲ 0.1	1.2	▲ 1.4	▲ 0.4	0.2	0.1	0.0	▲ 0.5	0.0
寄与度	0.16	0.15	▲ 0.01	0.12	▲ 0.05	▲ 0.01	0.01	0.02	0.00	▲ 0.05	0.00

総合指数の前月比に寄与した主な内訳

[上昇]

10大費目	中分類	前月比	(寄与度)
1 食料	生鮮果物	8.5	(0.11)
2 光熱・水道	電気代	2.9	(0.11)
3 交通・通信	通信	0.5	(0.02)

[下落]

10大費目	中分類	前月比	(寄与度)
1 家具・家事用品	家事用消耗品	▲ 2.0	(▲ 0.02)
2 教養娯楽	教養娯楽用品	▲ 1.3	(▲ 0.02)
3 被服及び履物	履物類	▲ 1.2	(▲ 0.01)

3. 前年同月との比較

表3 10大費目指数、前年同月比及び寄与度

(平成27年=100)

10大費目	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比(%)	0.2	▲ 1.0	0.8	3.7	1.3	0.4	▲ 0.2	▲ 0.7	0.8	0.1	1.2
寄与度	0.25	▲ 0.29	0.16	0.33	0.05	0.02	▲ 0.01	▲ 0.10	0.01	0.01	0.06

総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

[上昇]

10大費目	中分類	前年同月比	(寄与度)
1 光熱・水道	他の光熱	36.4	(0.44)
2 住居	設備修繕・維持	4.7	(0.15)
3 諸雑費	たばこ	9.6	(0.05)

[下落]

10大費目	中分類	前年同月比	(寄与度)
1 食料	生鮮果物	▲ 8.4	(▲ 0.12)
2 交通・通信	通信	▲ 14.6	(▲ 0.60)
3 保健医療	保健医療用品・器具	▲ 1.2	(▲ 0.01)

※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものである。

なお、端数処理のため、各費目毎の寄与度を合計しても総合指数の変化率と一致しない場合がある。

4. 全国の概況

- (1) **総合指数**は平成27年を100として **101.7**
 前月比（季節調整値）は 0.3% の上昇 前年同月比は 0.1% の下落
- (2) **生鮮食品を除く総合指数**は **101.7**
 前月比（季節調整値）は 0.2% の上昇 前年同月比は 0.1% の上昇
- (3) **生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数**は **101.8**
 前月比（季節調整値）は 0.1% の上昇 前年同月比は 0.2% の下落

図4 総合指数の動き（全国）

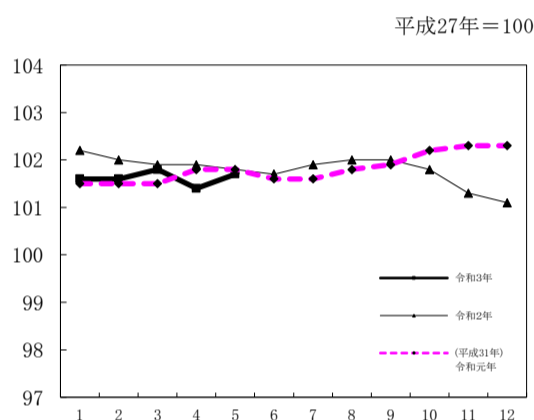


図5 生鮮食品を除く総合指数の動き（全国）

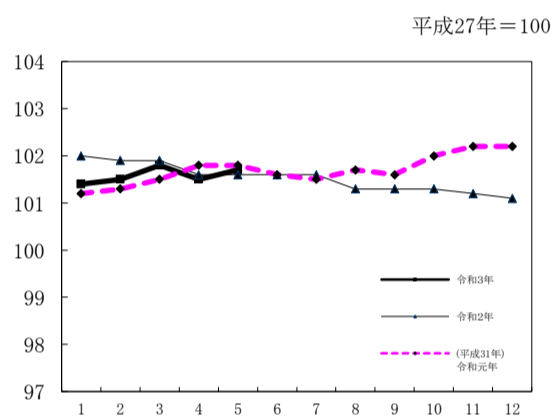


図6 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き（全国）

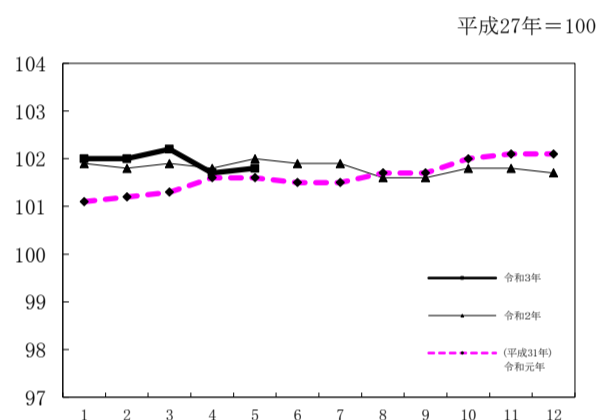


表4 総合、生鮮食品を除く総合、生鮮食品及びエネルギーを除く総合の指数、前月比及び前年同月比（全国）

		令和2年												3年					(%)	
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月	
総合	指数	101.8	101.7	101.9	102.0	102.0	101.8	101.3	101.1	101.6	101.6	101.8	101.4	101.7	101.6	101.6	101.8	101.4	101.7	
	前月比	▲ 0.1	0.0	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.1	0.6	0.1	0.2	▲ 0.4	0.3	0.6	0.1	0.2	▲ 0.4	0.3	
	前年同月比	0.1	0.1	0.3	0.2	0.0	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.1	
生鮮食品を除く総合	指数	101.6	101.6	101.6	101.3	101.3	101.3	101.2	101.1	101.4	101.5	101.8	101.5	101.7	101.4	101.5	101.8	101.5	101.7	
	前月比	0.0	0.1	0.1	▲ 0.3	0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	0.0	0.5	0.1	0.2	▲ 0.5	0.2	0.5	0.1	0.2	▲ 0.5	0.2	
	前年同月比	▲ 0.2	0.0	0.0	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	102.0	101.9	101.9	101.6	101.6	101.8	101.8	101.7	102.0	102.0	102.2	101.7	101.8	102.0	102.0	102.2	101.7	101.8	
	前月比	0.2	0.1	0.1	▲ 0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.1	▲ 0.7	0.1	0.6	0.0	0.1	▲ 0.7	0.1	
	前年同月比	0.4	0.4	0.4	▲ 0.1	0.0	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.4	0.1	0.2	0.3	▲ 0.2	▲ 0.2	0.1	0.2	0.3	▲ 0.2	▲ 0.2	

注) 前月比は季節調整値
 季節調整値は、毎年12月結果公表時に、過去に遡って改定している。

秋田市内10大費目指数

平成27年=100

年月	総合				食料		住居		光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエノルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエノルギーを除く総合	生鮮食品	生鮮食品を除く食料	生鮮食品	生鮮食品を除く食料									
平成 27年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
28年	99.9	99.7	100.9	100.6	101.8	103.4	101.5	100.2	92.3	99.2	105.5	101.5	97.8	103.5	100.9	100.8
29年	100.8	100.7	101.1	100.7	102.9	104.0	102.6	100.3	97.2	97.9	105.5	103.1	98.3	105.4	101.4	100.5
30年	102.2	101.8	101.4	100.7	105.1	109.4	104.1	100.2	102.7	96.9	103.2	104.4	99.7	109.1	101.7	101.3
令和 元年(31年)	102.7	102.5	102.1	101.0	105.8	106.0	105.7	100.0	103.7	98.6	103.8	104.6	99.7	108.4	103.7	101.2
2年	102.2	101.9	102.2	101.0	106.4	107.9	106.1	100.9	100.4	99.2	104.0	105.1	98.8	101.4	102.9	97.0
令和 2年	102.4	101.9	102.6	101.3	107.5	111.5	106.6	101.2	98.9	102.2	105.0	105.3	96.6	100.6	104.0	97.2
6月	102.4	102.0	102.5	101.3	107.2	109.4	106.7	101.1	99.4	102.5	104.5	105.2	97.2	100.6	103.9	96.7
7月	102.2	101.9	102.3	101.2	106.4	108.2	106.0	101.2	99.5	99.4	102.6	105.3	98.4	100.6	104.1	96.7
8月	102.2	101.7	101.9	100.7	107.3	113.3	105.9	101.2	99.8	99.1	101.6	105.2	99.1	100.6	101.7	96.4
9月	102.7	102.0	102.2	100.9	108.3	117.3	106.3	101.1	99.9	98.6	106.4	105.0	99.2	100.6	101.7	96.5
10月	102.1	101.6	102.0	100.9	106.7	111.8	105.6	101.1	98.7	98.2	106.2	105.0	98.7	100.6	101.1	97.5
11月	101.4	101.5	102.1	100.9	104.6	99.2	105.8	100.8	97.9	99.9	107.0	104.9	98.5	100.6	101.3	97.7
12月	101.2	101.4	101.9	100.6	104.5	97.5	106.1	100.8	97.7	99.7	104.1	104.6	98.8	100.6	100.4	97.4
3年	102.0	101.7	102.2	101.0	106.4	107.7	106.1	101.5	97.2	99.2	100.5	104.9	98.6	100.6	103.7	97.7
2月	102.4	102.0	102.5	101.2	106.9	109.1	106.4	101.5	98.2	100.7	103.2	104.5	98.8	100.6	103.5	97.8
3月	102.8	102.7	102.8	101.7	106.2	104.8	106.5	101.9	99.5	101.8	104.8	105.7	99.9	101.6	104.1	98.2
4月	102.5	102.4	102.3	101.0	105.8	102.6	106.5	102.0	101.2	104.9	105.8	104.9	95.8	101.4	104.7	98.3
5月	102.6	102.4	102.1	100.9	106.4	107.3	106.2	102.0	102.5	103.5	105.4	105.1	95.9	101.4	104.1	98.3

秋田市及び全国の中分類指数

令和3年5月分
(平成27年=100)

中分類	秋 田 市					全 国 ※2		
	指 数	前月比 (%)	※1	前 年 同 月 比 (%)	※1	指 数	前月比 (%)	前 年 同 月 比 (%)
総 合	102.6	0.2		0.2		101.7	0.3	▲ 0.1
生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	102.4	▲ 0.1		0.5		101.7	0.2	0.1
持 家 の 帰 属 家 賃 を 除 く 総 合	103.3	0.2		0.3		102.1	0.3	▲ 0.1
持 家 の 帰 属 家 賃 及 び 生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	103.0	▲ 0.1		0.6		102.1	0.3	0.1
生 鮮 食 品 及 び エ ネ ル ギ ー を 除 く 総 合	102.1	▲ 0.2		▲ 0.4		101.8	0.1	▲ 0.2
食 料 (酒 類 を 除 く) 及 び エ ネ ル ギ ー を 除 く 総 合	100.9	▲ 0.1		▲ 0.4		100.6	0.1	▲ 0.3
食 料	106.4	0.5		▲ 1.0		104.9	0.4	▲ 0.9
生 鮮 食 品 ※3	107.3	4.6		▲ 3.8		102.3	1.7	▲ 5.2
生 鮮 食 品 を 除 く 食 料	106.2	▲ 0.3		▲ 0.4		105.4	0.1	0.0
穀 類	102.8	0.2		0.2		104.6	▲ 0.2	▲ 1.6
魚 介 類	109.2	0.8		0.4		110.9	0.9	▲ 0.2
生 鮮 魚 介 類	108.6	5.5 ↑②		2.2		109.0	1.5	▲ 0.7
肉 類	108.1	0.2		▲ 3.2		105.3	▲ 0.2	▲ 0.2
乳 卵 類	105.8	1.0		1.2		104.4	0.0	▲ 0.2
野 菜 ・ 海 藻	106.4	0.7		▲ 3.3		100.0	▲ 0.1	▲ 4.6
生 鮮 野 菜	103.0	1.8 ↑④		▲ 4.8 ↓⑤		94.6	▲ 0.3	▲ 7.4
果 物	112.6	7.8		▲ 8.2		109.2	5.1	▲ 6.4
生 鮮 果 物	113.6	8.5 ↑①		▲ 8.4 ↓③		109.0	5.6	▲ 6.9
油 脂 ・ 調 味 料	105.9	0.0		0.0		99.4	0.1	▲ 1.5
菓 子 類	109.5	0.4		1.4		108.2	0.0	0.9
調 理 食 品	104.8	▲ 1.3 ↓④		▲ 1.3		104.2	0.3	0.1
飲 料	98.3	0.0		▲ 1.1		100.7	1.6	0.2
酒 類	106.9	0.3		0.3		103.1	0.0	▲ 0.2
外 食	105.7	0.1		0.4		106.0	0.0	0.3
住 居	102.0	▲ 0.1		0.8		101.1	0.0	0.6
持 家 の 帰 属 家 賃 を 除 く 住 居	111.0	▲ 0.2		2.9		105.3	0.0	1.8
家 賃	99.4	▲ 0.1		0.1		99.4	0.0	0.1
持 家 の 帰 属 家 賃 を 除 く 家 賃	100.4	▲ 0.7		0.0		99.3	0.0	▲ 0.1
設 備 修 繕 ・ 維 持	118.4	0.0		4.7 ↑⑤		110.8	0.1	3.4
光 熱 ・ 水 道	102.5	1.2		3.7		99.3	1.9	▲ 0.3
電 気 代 代	100.0	2.9 ↑③		▲ 2.5		97.9	3.2	▲ 2.9
ガ ス 代 代	100.4	1.5 ↑⑤		▲ 0.7		93.8	1.7	▲ 1.7
他 の 光 熱 代	112.5	▲ 1.2		36.4 ↑①		114.1	0.3	19.0
上 下 水 道 代	101.9	0.0		0.0		104.4	0.2	2.0
家 具 ・ 家 事 用 品	103.5	▲ 1.4		1.3		104.3	0.1	2.1
家 庭 用 耐 久 財	96.1	▲ 1.9 ↓③		3.3		101.5	0.2	2.3
室 内 装 備 品	88.6	▲ 3.0 ↓①		▲ 10.0 ↓②		95.7	▲ 0.1	0.3
寝 具 類	113.6	0.0		2.4		106.2	0.3	▲ 0.2
家 事 雑 貨	114.9	▲ 0.1		▲ 0.2		110.1	▲ 0.1	1.9
家 事 用 消 耗 品	108.2	▲ 2.0 ↓②		4.5		105.1	▲ 0.1	4.0
家 事 サ ー ビ ス	104.7	0.0		0.0		103.6	0.1	0.1

※1 数字は中分類での変化率の大きい順に5位までを表している。矢印↑は上昇、↓は下落を表している。

※2 原数値を掲載している。

※3 生鮮魚介、生鮮野菜及び生鮮果物をいう。

中 分 類	秋 田 市					全 国 ※2		
	指 数	前月比 (%)	※1	前 年 同 月 比 (%)	※1	指 数	前月比 (%)	前 年 同 月 比 (%)
被 服 及 び 履 物	105.4	▲ 0.4		0.4		105.2	▲ 0.1	0.3
衣 料	105.9	▲ 0.3		▲ 1.0		104.6	0.0	1.1
和 服	98.8	0.0		▲ 3.7		101.7	0.1	▲ 1.5
洋 服	106.9	▲ 0.4		▲ 0.6		104.7	0.0	1.2
シャツ・セーター・下着類	107.1	▲ 0.3		1.9		104.8	▲ 0.1	▲ 0.3
シャツ・セーター類	108.8	▲ 0.4		2.8		104.4	▲ 0.2	▲ 0.4
下 着 類	102.9	0.0		▲ 0.3		105.7	0.1	▲ 0.1
履 物 類	107.1	▲ 1.2		▲ 2.0		107.6	▲ 0.2	▲ 1.0
他 の 被 服 類	95.1	0.0		0.7		102.3	0.1	0.2
被 服 関 連 サ ー ビ ス	103.6	0.0		6.7 ↑③		109.4	0.0	1.1
保 健 医 療	105.1	0.2		▲ 0.2		104.2	0.1	▲ 0.1
医 薬 品 ・ 健 康 保 持 用 摂 取 品	104.7	0.9		0.3		101.0	0.4	0.3
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	100.7	▲ 0.5		▲ 1.2		102.4	0.0	▲ 0.9
保 健 医 療 サ ー ビ ス	106.7	0.0		▲ 0.2		106.4	0.0	▲ 0.2
交 通 ・ 通 信	95.9	0.1		▲ 0.7		96.0	0.3	▲ 1.5
交 通 費	103.1	0.9		▲ 0.3		103.3	0.9	▲ 0.2
自 動 車 等 関 係 費	105.0	▲ 0.2		6.5 ↑④		103.6	0.1	4.2
通 信	77.6	0.5		▲ 14.6 ↓①		76.7	0.5	▲ 15.1
教 育	101.4	0.0		0.8		93.9	0.1	1.3
授 業 料 等	90.9	0.0		▲ 0.3		87.4	0.1	0.5
教 科 書 ・ 学 習 参 考 教 材	102.9	0.0		0.0		102.9	0.0	0.0
補 習 教 育	118.8	0.0		2.4		108.0	0.0	2.8
教 養 娛 楽	104.1	▲ 0.5		0.1		105.0	▲ 0.2	0.6
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	96.3	▲ 0.6		0.3		97.8	0.4	▲ 1.0
教 養 娛 楽 用 品	102.7	▲ 1.3 ↓⑤		▲ 1.3		104.9	0.3	0.0
書 籍 ・ 他 の 印 刷 物	110.8	0.0		0.6		107.9	0.0	1.7
教 養 娛 楽 サ ー ビ ス	103.9	▲ 0.4		0.5		105.1	▲ 0.4	0.7
諸 雑 費	98.3	0.0		1.2		100.6	0.1	1.4
理 美 容 サ ー ビ ス	103.4	0.0		0.9		103.5	0.0	0.3
理 美 容 用 品	102.8	0.1		0.3		100.5	0.2	▲ 0.5
身 の 回 り 用 品	101.2	0.0		▲ 7.7 ↓④		107.8	▲ 0.1	0.3
た ば こ	124.4	0.0		9.6 ↑②		124.4	0.0	9.6
他 の 諸 雑 費	87.9	0.0		1.8		91.5	0.0	1.8
《 別 掲 》								
エ ネ ル ギ ー ※3	104.5	1.0		9.2		101.0	1.8	4.2
教 育 関 係 費	104.6	0.0		1.0		96.6	0.1	1.1
教 養 娛 楽 関 係 費	103.4	▲ 0.5		0.1		104.4	▲ 0.1	0.5
情 報 通 信 関 係 費	84.7	▲ 0.4		▲ 11.1		82.4	▲ 0.4	▲ 12.4

※1 数字は中分類での変化率の大きい順に5位までを表している。矢印↑は上昇を、↓は下落を表している。

※2 原数値を掲載している。

※3 電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油及びガソリンをいう。

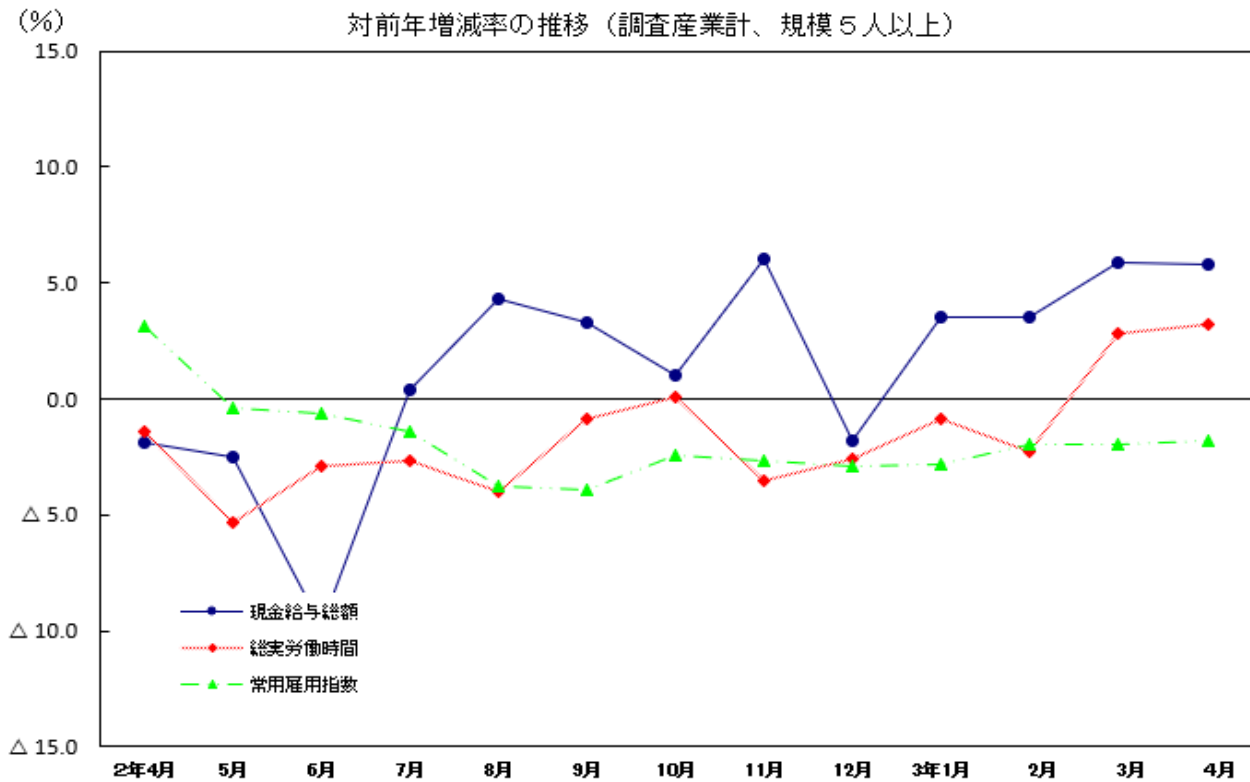
毎月勤労統計調査地方調査結果速報

～秋田県の賃金、労働時間及び雇用の動き～

令和3年4月分

今月の動き		
1	現金給与総額	240,186円 (前年同月比 5.8% 増)
2	実質賃金指数	89.8 (前年同月比 5.6% 増)
3	総実労働時間	153.1時間 (前年同月比 3.2% 増)
4	常用雇用指数	99.8 (前年同月比 1.8% 減)

※調査産業計・事業所規模5人以上



令和3年6月29日公表

秋 田 県

目 次

○ 結果の概要	
1 賃金の動き	1
2 労働時間の動き	2
3 雇用の動き	3
○ 統計表	
規模5人以上・30人以上について	
第1表 一般労働者・パートタイム労働者別1人平均月間現金給与額	4
第2表 一般労働者・パートタイム労働者別1人平均月間出勤日数及び総実労働時間数	4
第3表 一般労働者・パートタイム労働者別常用労働者数	5
第4表 規模別性別常用労働者1人平均月間現金給与額	5
第5表 規模別性別常用労働者1人平均月間出勤日数及び総実労働時間数	5
規模5人以上について	
第6表 産業別性別常用労働者1人平均月間現金給与等	6
第7表 産業別性別常用労働者1人平均月間出勤日数、総実労働時間数等	7
第8-1表 産業別性別常用労働者数等(男女計)	8
第8-2表 〃 (男女別)	9
規模30人以上について	
第6表 産業別性別常用労働者1人平均月間現金給与等	10
第7表 産業別性別常用労働者1人平均月間出勤日数、総実労働時間数等	11
第8-1表 産業別性別常用労働者数等(男女計)	12
第8-2表 〃 (男女別)	13
○ 賃金・雇用指数の推移	14
○ 毎月勤労統計調査地方調査の説明	15

☆☆☆☆☆ 利用上の注意 ☆☆☆☆☆

- ここに公表された数値は、調査票集計値に推計比率を乗じて、これを前月末と本月末の推計労働者数の平均で除したものであり、これにより本県の事業所規模5人以上のすべての事業所に対応するように復元された数値である。
推計比率 = 前月末母集団 ÷ 前月末常用労働者数(調査票集計値)
- 対前年比(前月比)等は、原則として指数により算出しており、実数で計算した場合と必ずしも一致しない。(指数が作成できない産業においては実数により計算している。)
- 調査事業所のうち30人以上の抽出方法は、平成30年1月分より従来の2～3年に一度行う総入替え方式から、毎年1月分調査時に行う部分入替え方式に変更した。(直近ではR3年1月部分入替実施)賃金、労働時間指数とその増減率は、総入替え方式のときに行っていた過去に遡った改訂はしていない。常用雇用指数とその増減率は、労働者数推計のベンチマークを平成30年1月分で更新したことに伴い、過去に遡って改訂している。(H31年はベンチマーク更新を行っていない)
(指数等詳細：<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/monthly/sisuu/sisuu.html>(本調査では季節調整値は算定していない))
- 平成29年1月分速報公表時から、各指数の基準年を平成22年から平成27年に更新した。平成28年12月までの指数については、平成29年1月分以降と比較できるように、平成27年平均が100となるものに遡及改訂した。なお、平成28年12月分までの増減率については遡及改訂していないため、改訂後の指数で計算したものと一致しないことがある。
- 上記のとおり、指数は平成27年を基準年としたものである。(平成27年=100)
- 名目賃金指数 = $\frac{\text{調査結果の実数}}{\text{基準数値}} \times 100$
- 実質賃金指数 = $\frac{\text{名目賃金指数}}{\text{消費者物価指数}} \times 100$
- 雇用指数 = $\frac{\text{調査結果の実数}}{\text{基準数値}} \times 100$
- 平成29年1月分速報から日本標準産業分類(平成25年10月改定)に基づき公表している。ただし、表章産業の名称に変更はなく、平成28年以前の結果と単純に接続させる扱いとする。
- 「鉱業、採石業、砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「不動産業、物品賃貸業」については調査事業所数が少ないため公表から除外しているが、調査産業計には含まれている。
- 「複合サービス事業」の30人以上の事業所については調査対象数が少ないため、非公表。

結果の概要（令和3年4月分）

1 賃金の動き

～事業所規模5人以上～

今月の常用労働者（調査産業計）の現金給与総額は240,186円で、前月と比べ2.0%の減、前年同月と比べ5.8%の増となった。

パートタイム労働者について、一般労働者と比べてみると、現金給与総額（調査産業計）で、一般労働者284,460円に対し、パートタイム労働者は107,350円であった。（P4-第1表）

～事業所規模30人以上～

今月の常用労働者（調査産業計）の現金給与総額は252,064円で、前月と比べ3.0%の減、前年同月と比べ4.3%の増となった。

パートタイム労働者について、一般労働者と比べてみると、現金給与総額（調査産業計）で、一般労働者296,977円に対し、パートタイム労働者は103,282円であった。（P4-第1表）

1人平均月間給与総額

業	産	現金給与総額		きまって支給する給与		所定内給与		特別給与	
		実額	前年比	実額	前年比	実額	前年比	実額	前年差
		円	%	円	%	円	%	円	円
5人 以上	調査産業計	240,186	5.8 (▲2.0)	230,510	3.5 (▲0.7)	216,066	3.1 (▲0.3)	9,676	5,253 (▲3,464)
	建設業	310,978	24.5	293,690	18.4	272,714	15.2	17,288	15,732
	製造業	250,252	3.1	230,005	▲2.7	210,502	▲3.4	20,247	13,658
	情報通信業	373,144	19.1	349,912	11.9	311,221	8.5	23,232	22,259
	運輸業、郵便業	289,361	1.9	286,378	1.8	246,157	6.2	2,983	495
	卸売業、小売業	204,193	13.5	186,222	7.2	177,002	5.0	17,971	12,022
	金融業、保険業	301,074	▲2.6	301,074	▲2.5	285,163	▲1.4	0	▲70
	学術研究、専門・技術サービス業	290,723	▲21.0	272,487	▲7.5	263,414	▲7.3	18,236	▲55,317
	宿泊業、飲食サービス業	139,753	5.9	137,617	8.0	133,768	12.8	2,136	▲2,334
	生活関連サービス業、娯楽業	166,792	8.4	166,792	8.4	160,026	6.1	0	0
	教育、学習支援業	340,284	7.4	340,105	7.5	334,045	6.8	179	48
	医療、福祉	231,698	1.6	230,055	1.4	217,776	1.0	1,643	353
	複合サービス事業	286,638	▲1.4	285,953	▲0.2	275,236	▲0.1	685	▲3,354
	サービス業 (他に分類されないもの)	190,520	3.0	184,218	0.0	174,330	1.4	6,302	5,501
	30人 以上	調査産業計	252,064	4.3 (▲3.0)	243,031	1.2 (0.3)	225,982	1.1 (▲0.1)	9,033
建設業		342,786	11.2	310,926	2.3	293,156	0.9	31,860	27,401
製造業		284,819	11.4	255,777	1.1	231,275	0.3	29,042	26,262
情報通信業		338,778	15.3	338,690	15.4	310,686	10.6	88	▲112
運輸業、郵便業		318,361	10.7	312,558	10.6	258,775	19.2	5,803	898
卸売業、小売業		163,688	▲0.6	162,412	▲1.3	155,767	▲0.8	1,276	1,263
金融業、保険業		303,649	2.9	303,649	3.0	277,835	4.4	0	▲184
学術研究、専門・技術サービス業		332,257	▲3.0	332,257	▲3.0	320,937	▲2.3	0	0
宿泊業、飲食サービス業		131,768	▲3.7	130,982	1.2	126,771	1.2	786	▲6,588
生活関連サービス業、娯楽業		151,900	17.6	151,900	17.7	140,574	10.6	0	0
教育、学習支援業		380,737	1.9	380,426	1.8	373,112	1.2	311	86
医療、福祉		252,820	▲1.5	252,184	▲1.7	237,563	▲2.2	636	619
サービス業 (他に分類されないもの)		183,531	5.7	175,465	1.8	164,467	3.2	8,066	6,950

※ 事業所規模30人以上の「複合サービス事業」は調査対象数が少ないため非公表。

注) ()内は対前月増減率、特別給与は対前月差対前年比(前月比)は指数により算出

2 労働時間の動き

～事業所規模5人以上～

今月の常用労働者（調査産業計）の総実労働時間数は153.1時間で、前月と比べ2.9%の増、前年同月と比べ3.2%の増となった。

パートタイム労働者について、一般労働者と比べてみると、総実労働時間数（調査産業計）で、一般労働者171.1時間に対し、パートタイム労働者は98.9時間であった。（P4-第2表）

～事業所規模30人以上～

今月の常用労働者（調査産業計）の総実労働時間数は152.7時間で、前月と比べ3.2%の増、前年同月と比べ1.0%の増となった。

パートタイム労働者について、一般労働者と比べてみると、総実労働時間数（調査産業計）で、一般労働者169.1時間に対し、パートタイム労働者は98.2時間であった。（P4-第2表）

1人平均月間労働時間数及び出勤日数

業	産	総実労働時間数						出勤日数	
		前年比		所定内労働時間数		所定外労働時間数		日	前年差
		時間	%	時間	%	時間	%		
5 人 以 上	調査産業計	153.1	3.2 (2.9)	144.7	2.3 (3.3)	8.4	21.8 (▲ 3.4)	20.0	0.3 (0.5)
	建設業	169.1	5.3	160.8	4.0	8.3	38.3	20.9	▲ 0.3
	製造業	162.4	▲ 4.1	151.2	▲ 5.5	11.2	20.5	19.7	▲ 1.3
	情報通信業	173.3	6.8	151.9	▲ 0.7	21.4	130.1	19.8	▲ 0.7
	運輸業，郵便業	177.7	▲ 0.5	158.8	▲ 0.4	18.9	▲ 2.6	21.8	0.6
	卸売業，小売業	147.7	8.6	141.3	7.5	6.4	42.1	20.9	1.2
	金融業，保険業	158.5	3.6	152.0	4.6	6.5	▲ 16.6	21.6	1.6
	学術研究，専門・技術サービス業	156.8	▲ 7.2	150.5	▲ 8.5	6.3	40.0	20.1	▲ 2.3
	宿泊業，飲食サービス業	114.2	14.2	110.8	18.4	3.4	▲ 46.9	17.6	2.1
	生活関連サービス業，娯楽業	140.0	20.3	132.9	16.0	7.1	294.6	20.5	4.0
	教育，学習支援業	172.5	12.1	155.9	7.3	16.6	93.0	20.2	0.8
	医療，福祉	143.0	2.1	138.3	1.9	4.7	9.3	18.9	▲ 0.3
	複合サービス事業	155.9	0.0	150.4	0.0	5.5	▲ 1.8	19.6	▲ 0.3
	サービス業 (他に分類されないもの)	152.0	1.9	145.1	2.2	6.9	▲ 4.2	19.8	0.4
	30 人 以 上	調査産業計	152.7	1.0 (3.2)	144.1	0.6 (3.3)	8.6	7.5 (2.3)	19.6
建設業		168.0	7.1	159.5	6.2	8.5	30.8	21.4	1.4
製造業		168.4	0.2	155.5	▲ 1.1	12.9	19.5	19.8	▲ 0.4
情報通信業		166.7	▲ 4.5	153.7	▲ 8.8	13.0	116.6	20.2	▲ 1.7
運輸業，郵便業		190.1	0.9	166.6	2.2	23.5	▲ 6.8	22.2	0.5
卸売業，小売業		133.7	▲ 6.1	128.8	▲ 5.6	4.9	▲ 18.3	19.8	▲ 0.5
金融業，保険業		153.0	0.4	142.1	0.7	10.9	▲ 3.5	20.2	0.1
学術研究，専門・技術サービス業		167.1	▲ 0.1	158.6	▲ 0.7	8.5	11.8	21.5	▲ 0.2
宿泊業，飲食サービス業		109.1	18.2	105.5	20.8	3.6	▲ 27.9	15.8	1.9
生活関連サービス業，娯楽業		131.5	36.3	123.1	28.8	8.4	833.8	21.6	8.9
教育，学習支援業		160.2	3.0	154.6	0.7	5.6	166.3	20.7	0.5
医療，福祉		145.4	0.2	140.6	0.7	4.8	▲ 11.0	18.7	▲ 0.4
サービス業 (他に分類されないもの)		148.9	4.3	140.0	4.0	8.9	9.8	19.2	0.4

※ 事業所規模30人以上の「複合サービス事業」は調査対象数が少ないため非公表。

注) () 内は対前月増減率、出勤日数は対前月差対前年比(同月比)は指数により算出

3 雇用の動き

～事業所規模5人以上～

今月の常用労働者（調査産業計）の雇用の動きをみると、常用雇用指数（平成27年平均＝100）は99.8で、前月と比べ1.3%の増、前年同月と比べ1.8%の減となった。

常用労働者中のパートタイム労働者の比率をみると、調査産業計で24.8%で、前年同月と比べ0.8ポイントの上昇となった。

～事業所規模30人以上～

今月の常用労働者（調査産業計）の雇用の動きをみると、常用雇用指数（平成27年平均＝100）は102.5で、前月と比べ2.8%の増、前年同月と比べ0.7%の増となった。

常用労働者中のパートタイム労働者の比率をみると、調査産業計で23.1%で、前年同月と比べ2.9ポイントの上昇となった。

月間常用労働者数

産 業	本 月 末 労働者数	常 用 労 働 者				労 働 異 動				
		雇 用 指 数	パートタイム労働者		入 職 率	離 職 率				
			前年比	比率		前年差	前年差			
	人		%	%	%	%	%	%	%	
5 人 以 上	調査産業計	326,719	99.8	▲ 1.8 (1.3)	24.8	0.8 (▲ 0.5)	4.73	0.33 (3.30)	3.48	0.17 (1.29)
	建設業	25,717	99.5	▲ 0.4	2.4	▲ 0.3	1.29	0.06	1.50	▲ 1.28
	製造業	55,278	93.8	▲ 12.9	10.4	2.2	2.18	▲ 0.65	1.14	0.06
	情報通信業	2,980	141.8	▲ 4.8	2.2	0.7	2.53	▲ 0.74	3.43	3.43
	運輸業，郵便業	19,560	108.9	6.0	8.2	2.5	5.69	5.01	0.41	▲ 0.65
	卸売業，小売業	57,288	96.1	▲ 1.4	42.8	▲ 7.0	1.91	▲ 1.23	2.18	▲ 0.02
	金融業，保険業	7,846	88.5	▲ 2.6	23.2	8.6	9.09	2.42	4.16	▲ 2.86
	学術研究，専門・技術サービス業	5,706	96.1	2.0	7.6	4.1	5.59	▲ 1.84	3.11	0.38
	宿泊業，飲食サービス業	17,367	92.0	▲ 3.3	53.5	▲ 1.9	3.49	▲ 0.38	5.93	4.92
	生活関連サービス業，娯楽業	11,637	125.2	9.0	49.6	2.2	3.71	1.47	1.80	▲ 10.54
	教育，学習支援業	18,868	97.7	0.1	20.5	3.3	19.32	▲ 4.75	11.08	▲ 0.48
	医療，福祉	67,844	102.3	2.5	25.6	0.5	6.27	2.10	4.96	1.76
	複合サービス事業	5,649	92.2	▲ 1.9	14.9	▲ 0.7	8.53	▲ 1.23	7.33	▲ 3.29
	サービス業 (他に分類されないもの)	26,280	116.7	0.7	28.6	8.0	4.70	1.00	4.87	1.55
30 人 以 上	調査産業計	177,482	102.5	0.7 (2.8)	23.1	2.9 (▲ 0.2)	5.70	0.47 (4.48)	2.95	▲ 0.56 (0.67)
	建設業	5,792	89.3	▲ 1.5	1.2	▲ 0.3	2.38	1.38	1.86	0.67
	製造業	38,450	99.3	▲ 2.3	6.7	2.1	2.21	▲ 0.08	1.27	0.09
	情報通信業	1,922	151.0	▲ 0.8	3.4	0.9	4.08	▲ 1.30	0.81	0.81
	運輸業，郵便業	10,226	97.4	9.4	8.0	▲ 1.7	9.88	8.55	0.82	▲ 1.26
	卸売業，小売業	23,323	100.1	▲ 2.4	57.0	4.3	3.96	1.62	3.36	1.89
	金融業，保険業	2,503	69.5	▲ 17.6	29.0	4.3	6.60	▲ 0.24	4.68	▲ 3.24
	学術研究，専門・技術サービス業	1,981	88.8	▲ 2.0	9.2	▲ 0.5	7.42	▲ 4.91	4.57	▲ 1.73
	宿泊業，飲食サービス業	5,839	87.5	▲ 1.7	54.3	3.6	2.05	▲ 6.33	3.28	1.38
	生活関連サービス業，娯楽業	4,612	149.3	18.4	50.2	▲ 0.8	1.29	▲ 0.54	0.15	▲ 26.02
	教育，学習支援業	11,252	92.5	▲ 1.8	17.3	1.6	23.65	▲ 8.07	6.17	▲ 1.71
	医療，福祉	46,356	107.0	2.7	22.1	5.3	6.18	1.53	4.21	1.21
	サービス業 (他に分類されないもの)	19,796	133.9	5.9	23.3	2.5	5.17	0.42	2.26	▲ 1.94

※ 事業所規模30人以上の「複合サービス事業」は調査対象数が少ないため非公表。

注) ()内は、対前月増減率、パートタイム労働者比率及び労働異動率は対前月差対前年比（前月比）は指数により算出

第3表 常用労働者数

(事業所規模5人以上) (単位：人)

産業	一		般		労働者		パ		ー		ム		労働者		
	前調査 期間末	増加	減少	本調査 期間末	前調査 期間末	増加	減少	本調査 期間末	前調査 期間末	増加	減少	本調査 期間末	前調査 期間末	増加	減少
調査産業計	241,498	12,286	8,510	245,574	81,191	2,981	2,727	81,145	81,191	2,981	2,727	81,145	81,191	2,981	2,727
製造業	49,008	996	473	49,542	5,701	198	152	5,736	5,701	198	152	5,736	5,701	198	152
卸売・小売業	32,668	848	925	32,767	24,775	251	329	24,521	24,775	251	329	24,521	24,775	251	329
サービス業	18,763	1,009	1,056	18,758	7,563	228	227	7,522	7,563	228	227	7,522	7,563	228	227

(事業所規模30人以上) (単位：人)

産業	一		般		労働者		パ		ー		ム		労働者		
	前調査 期間末	増加	減少	本調査 期間末	前調査 期間末	増加	減少	本調査 期間末	前調査 期間末	増加	減少	本調査 期間末	前調査 期間末	増加	減少
調査産業計	132,465	8,179	4,176	136,534	40,255	1,670	911	40,948	40,255	1,670	911	40,948	40,255	1,670	911
製造業	35,464	788	405	35,858	2,630	53	80	2,592	2,630	53	80	2,592	2,630	53	80
卸売・小売業	9,936	723	628	10,034	13,247	196	151	13,289	13,247	196	151	13,289	13,247	196	151
サービス業	14,621	848	333	15,179	4,616	146	102	4,617	4,616	146	102	4,617	4,616	146	102

規模別性別統計表

第4表 常用労働者1人平均月間現金給与額(調査産業計)

規模	現金給与総額		きまって支給する給与		所定内給与		超過労働給		特別に支払われた給与			
	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子
100人以上	287,944	347,600	224,140	270,530	321,401	216,123	249,975	20,555	17,414	26,199	8,017	8,017
30~99人	225,160	280,403	173,482	222,411	275,658	172,601	207,992	14,419	2,749	4,745	881	881
5~29人	226,285	276,426	173,562	215,856	264,423	164,788	204,460	11,396	10,429	12,003	8,774	8,774

(単位：円)

第5表 常用労働者1人平均月間出勤日数及び総実労働時間数(調査産業計)

規模	出勤日数		総実労働時間数		所定内労働時間		所定外労働時間			
	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	
100人以上	19.5	19.6	19.4	154.8	164.1	145.0	138.5	9.1	11.6	6.5
30~99人	19.7	20.9	18.6	151.1	167.8	135.4	131.7	8.2	13.0	3.7
5~29人	20.4	21.0	19.8	153.6	167.3	139.1	133.8	8.2	10.8	5.3

産業別統計表

第6表 産業別性別常用労働者1人平均月間現金給与額、きまって支給する給与、所定内給与、超過労働給与及び特別に支払われた給与

(事業所規模5人以上)

産業	計					男		女		子		子	
	現金給与総額	きまって支給する給与	所定内給与	超過労働給与	特別に支払われた給与	現金給与総額	現給与総額	現金給与総額	現給与総額	きまって支給する給与	特別に支払われた給与	きまって支給する給与	特別に支払われた給与
T L 調査産業計	240,186	230,510	216,066	14,444	9,676	294,448	294,448	184,935	184,935	281,227	13,221	178,868	6,067
D 建設業	310,978	293,690	272,714	20,976	17,288	325,463	325,463	232,935	232,935	306,753	18,710	223,309	9,626
E 製造業	250,252	230,005	210,502	19,503	20,247	300,245	300,245	172,733	172,733	273,769	26,476	162,144	10,589
G 情報通信業	373,144	349,912	311,221	38,691	23,232	412,477	412,477	326,251	326,251	401,382	11,095	288,549	37,702
H 運輸業、郵便業	289,361	286,378	246,157	40,221	2,983	307,866	307,866	177,884	177,884	304,894	2,972	174,839	3,045
I 卸売業、小売業	204,193	186,222	177,002	9,220	17,971	264,267	264,267	151,079	151,079	242,634	21,633	136,345	14,734
J 金融業、保険業	301,074	301,074	285,163	15,911	0	379,232	379,232	217,196	217,196	379,232	0	217,196	0
L 学術研究、専門・技術サービス業	290,723	272,487	263,414	9,073	18,236	311,534	311,534	238,377	238,377	293,694	17,840	219,144	19,233
M 宿泊業、飲食サービス業	139,753	137,617	133,768	3,849	2,136	201,734	201,734	108,191	108,191	200,325	1,409	105,685	2,506
N 生活関連サービス業、娯楽業	166,792	166,792	160,026	6,766	0	228,114	228,114	131,807	131,807	228,114	0	131,807	0
O 教育、学習支援業	340,284	340,105	334,045	6,060	179	380,798	380,798	300,907	300,907	380,775	23	300,577	330
P 医療、福祉	231,698	230,055	217,776	12,279	1,643	307,892	307,892	208,034	208,034	307,351	541	208,034	1,956
Q 複合サービス事業	286,638	285,953	275,236	10,717	685	320,188	320,188	213,083	213,083	319,767	421	211,819	1,264
R サービス業	190,520	184,218	174,330	9,888	6,302	215,638	215,638	157,320	157,320	206,748	8,890	154,438	2,882
E09,10 食料品・たばこ業	179,831	177,992	168,638	9,354	1,839	217,415	217,415	140,116	140,116	215,808	1,607	138,031	2,085
E11 繊維工業	150,272	150,272	144,809	5,463	0	196,381	196,381	142,132	142,132	196,381	0	142,132	0
E12 木材・木製品	234,006	233,805	217,826	15,979	201	246,428	246,428	177,833	177,833	246,183	245	177,833	0
E15 印刷・関連業	195,349	195,349	183,324	12,025	0	238,053	238,053	147,055	147,055	238,053	0	147,055	0
E21 窯業・土石	227,749	227,749	211,231	16,518	0	231,936	231,936	206,529	206,529	231,936	0	206,529	0
E24 金属製品	262,441	262,038	240,315	21,723	403	277,898	277,898	188,676	188,676	277,410	488	188,676	0
E28 電子デバイス	276,990	276,990	246,321	30,669	0	332,165	332,165	195,764	195,764	332,165	0	195,764	0
E29 電気機械器具	222,083	222,083	209,860	12,223	0	284,790	284,790	155,602	155,602	284,790	0	155,602	0
E30 情報通信機械器具	302,236	212,570	198,082	14,488	89,666	367,965	367,965	193,838	193,838	240,016	127,949	167,307	26,531
E31 輸送用機械器具	252,189	252,189	223,886	28,303	0	269,529	269,529	192,119	192,119	269,529	0	192,119	0
E32,20 その他	142,427	142,427	140,836	1,591	0	178,541	178,541	104,170	104,170	178,541	0	104,170	0
ES-1 E-1 一括分1	262,597	260,709	225,805	34,904	1,888	277,907	277,907	180,377	180,377	275,775	2,132	179,801	576
ES-2 E-2 一括分2	271,368	271,305	247,651	23,654	63	286,367	286,367	198,819	198,819	286,297	70	198,794	25
I-1 卸売業	215,591	215,591	211,163	4,428	0	243,492	243,492	157,999	157,999	243,492	0	157,999	0
I-2 小売業	200,673	177,150	166,449	10,701	23,523	274,913	274,913	149,904	149,904	242,195	32,718	132,669	17,235
M75 宿泊業	143,240	142,560	139,263	3,297	680	205,256	205,256	111,977	111,977	204,479	777	111,347	630
MS M-1 一括分	137,555	134,500	130,302	4,198	3,055	199,538	199,538	105,791	105,791	197,735	1,803	102,095	3,696

(単位：円)

(注) 1 調査産業計の結果は、C鉱業、F電気・ガス、熱供給・水道業およびKK不動産業(調査事業所が僅少のため公表除外)を含めて算定したものである。

2 ES-1とは、製造業のうち、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業を一括集計したものである。

3 ES-2とは、製造業のうち、家具・装備品製造業、バルブ・紙・紙加工品製造業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、鉄鋼業及び非鉄金属製造業を一括集計したものである。

4 MSとは、宿泊業、飲食サービス業のうち、飲食店及び持ち帰り・配達飲食サービス業を一括集計したものである。

5 業務用機械器具は調査対象数がないため、非公表。

第7表 産業別性別常用労働者1人平均月間出勤日数、総実労働時間数、所定内労働時間数及び所定外労働時間数

(事業所規模5人以上)

産 業	計						男 子			女 子				
	出 勤 日 数	総 実 労働時間 時間	所 定 内 労働時間 時間	所 定 外 労働時間 時間	出 勤 日 数	総 実 労働時間 時間	出 勤 日 数	総 実 労働時間 時間	所 定 内 労働時間 時間	所 定 外 労働時間 時間	出 勤 日 数	総 実 労働時間 時間	所 定 内 労働時間 時間	所 定 外 労働時間 時間
T L 調 査 産 業 計	20.0	153.1	144.7	8.4	20.6	166.7	155.1	11.6	19.3	139.3	134.2	5.1		
D 建 設 業	20.9	169.1	160.8	8.3	20.9	170.2	160.7	9.5	21.0	163.1	161.0	2.1		
E 製 造 業	19.7	162.4	151.2	11.2	19.8	169.6	155.2	14.4	19.6	151.4	145.1	6.3		
G 情 報 通 信 業	19.8	173.3	151.9	21.4	20.5	175.3	157.8	17.5	19.0	171.1	144.9	26.2		
H 運 輸 業、 郵 便 業	21.8	177.7	158.8	18.9	22.0	183.0	162.3	20.7	20.9	145.4	137.8	7.6		
I 卸 売 業、 小 売 業	20.9	147.7	141.3	6.4	21.7	166.3	155.3	11.0	20.1	131.3	128.9	2.4		
J 金 融 業、 保 険 業	21.6	158.5	152.0	6.5	22.1	171.1	163.6	7.5	20.9	145.0	139.7	5.3		
L 学 術 研 究、 専 門・技 術 業	20.1	156.8	150.5	6.3	19.9	155.7	149.3	6.4	20.7	159.5	153.4	6.1		
M 宿 泊 業、 飲 食 サ ー ビ ス 業	17.6	114.2	110.8	3.4	18.8	138.3	134.0	4.3	17.0	101.8	98.9	2.9		
N 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業、 娯 楽 業	20.5	140.0	132.9	7.1	20.1	166.9	152.4	14.5	20.7	124.7	121.8	2.9		
O 教 育、 学 習 支 援 業	20.2	172.5	155.9	16.6	20.5	175.0	160.5	14.5	19.8	170.1	151.4	18.7		
P 医 療、 福 祉	18.9	143.0	138.3	4.7	19.8	150.8	144.8	6.0	18.7	140.7	136.4	4.3		
Q 複 合 サ ー ビ ス 事 業	19.6	155.9	150.4	5.5	19.9	160.2	153.5	6.7	18.9	146.5	143.7	2.8		
R サ ー ビ ス 業	19.8	152.0	145.1	6.9	20.3	162.4	153.7	8.7	19.1	138.4	133.7	4.7		
E09.10 食 料 品・たばこ	20.0	146.6	140.4	6.2	20.4	159.0	151.0	8.0	19.5	133.5	129.2	4.3		
E11 織 維 工 業	20.6	157.5	151.5	6.0	19.8	148.6	142.1	6.5	20.7	159.1	153.2	5.9		
E12 木 材・木 製 品	19.5	159.5	149.0	10.5	19.6	160.8	149.4	11.4	19.3	153.9	147.2	6.7		
E15 印 刷・同 関 連 業	21.5	174.8	166.2	8.6	22.3	187.4	176.0	11.4	20.6	160.4	155.0	5.4		
E21 窯 業・土 石	18.7	155.4	141.8	13.6	18.6	156.5	141.5	15.0	19.4	149.9	143.5	6.4		
E24 金 属 製 品	20.5	175.4	160.6	14.8	20.3	177.3	161.0	16.3	21.4	166.2	158.6	7.6		
E28 電 子・デ バ イ ス	18.3	166.4	153.8	12.6	18.1	174.7	159.8	14.9	18.7	154.4	145.0	9.4		
E29 電 気 機 械 器 具	19.5	155.3	149.2	6.1	20.8	166.9	157.7	9.2	18.2	142.8	140.1	2.7		
E30 情 報 通 信 機 械 器 具	20.5	163.2	154.0	9.2	20.5	168.1	159.2	8.9	20.4	155.4	145.5	9.9		
E31 輸 送 用 機 械 器 具	20.9	179.7	164.7	15.0	20.8	181.7	165.3	16.4	21.0	172.4	162.3	10.1		
E32.20 そ の 他	13.9	107.7	106.6	1.1	16.5	131.0	129.3	1.7	11.1	83.0	82.5	0.5		
ES-1 E 一 括 分 1	20.9	191.8	163.3	28.5	20.9	196.5	164.6	31.9	21.1	166.2	156.2	10.0		
ES-2 E 一 括 分 2	20.5	168.5	155.6	12.9	20.6	170.4	156.2	14.2	19.7	159.5	152.8	6.7		
I-1 卸 売 業	22.3	164.0	160.9	3.1	22.9	172.2	168.2	4.0	20.9	147.0	145.6	1.4		
I-2 小 売 業	20.5	142.8	135.3	7.5	21.1	163.3	148.6	14.7	20.0	128.7	126.1	2.6		
M75 宿 泊 業	18.1	122.7	120.7	2.0	18.8	146.5	143.3	3.2	17.7	110.7	109.3	1.4		
MS M 一 括 分	17.3	108.7	104.5	4.2	18.8	133.3	128.3	5.0	16.5	96.1	92.3	3.8		

第8-1表 産業別性別前調査期間末、増加、減少及び本調査期間末常用労働者数並びにパートタイム労働者及びびパートタイム労働者比率(男女計)
(事業所規模5人以上)

産 業	前調査期間末 常用労働者数	増 加 常用労働者数	減 少 常用労働者数	本調査期間末 常用労働者数	うちパートタイム 労働者数	パートタイム 労働者比率	%
T L 調 査 産 業 計	322,689	15,267	11,237	326,719	81,145	24.8	
D 建 設 業	25,771	333	387	25,717	605	2.4	
E 製 造 業	54,709	1,194	625	55,278	5,736	10.4	
G 情 報 通 信 業	3,007	76	103	2,980	66	2.2	
H 運 輸 業、郵 便 業	18,580	1,057	77	19,560	1,601	8.2	
I 卸 売 業、小 売 業	57,443	1,099	1,254	57,288	24,521	42.8	
J 金 融 業、保 険 業	7,477	680	311	7,846	1,819	23.2	
L 学 術 研 究、専 門・技 術 サービス業	5,568	311	173	5,706	434	7.6	
M 宿 泊 業、飲 食 サービス業	17,802	621	1,056	17,367	9,294	53.5	
N 生 活 関 連 サービス業、娯 楽 業	11,418	424	205	11,637	5,767	49.6	
O 教 育、学 習 支 援 業	17,431	3,368	1,931	18,868	3,863	20.5	
P 医 療、福 祉 社	66,967	4,196	3,319	67,844	17,374	25.6	
Q 複 合 サービス業	5,582	476	409	5,649	841	14.9	
R サービス業	26,326	1,237	1,283	26,280	7,522	28.6	
E09,10 食 料 品・た ば こ 業	7,751	208	192	7,767	2,582	33.2	
E11 織 維 工 業	8,385	167	56	8,496	460	5.4	
E12 木 材・木 製 品	2,962	38	26	2,974	133	4.5	
E15 印 刷・同 関 連 業	813	4	2	815	77	9.4	
E21 窯 業・土 石	1,464	11	2	1,473	176	11.9	
E24 金 属 製 品	3,389	82	8	3,463	121	3.5	
E28 電 子・デ バ イ ス	10,245	115	143	10,217	1,283	12.6	
E29 電 気 機 械 器 具	2,223	39	2	2,260	115	5.1	
E30 情 報 通 信 機 械 器 具	603	6	4	605	67	11.1	
E31 輸 送 用 機 械 器 具	1,135	10	21	1,124	54	4.8	
E32,20 そ の 他	902	0	35	867	238	27.5	
ES-1 E 一 括 分 1	4,397	140	35	4,502	231	5.1	
ES-2 E 一 括 分 2	8,138	309	91	8,356	199	2.4	
I-1 卸 売 業	13,527	480	456	13,551	2,373	17.5	
I-2 小 売 業	43,916	619	798	43,737	22,148	50.6	
M75 宿 泊 業	6,840	40	120	6,760	3,142	46.5	
MS M 一 括 分	10,962	581	936	10,607	6,152	58.0	

第8-2表 産業別性別前調査期間末、増加、減少及び本調査期間末常用労働者数並びにパートタイム労働者及びパートタイム労働者比率（男女別）

(事業所規模5人以上)

産 業	男						女					
	前調査期間末常用労働者数	増加常用労働者数	減少常用労働者数	本調査期間末常用労働者数	うちパートタイム労働者数	パートタイム労働者比率	前調査期間末常用労働者数	増加常用労働者数	減少常用労働者数	本調査期間末常用労働者数	うちパートタイム労働者数	パートタイム労働者比率
	人	人	人	人	人	%	人	人	人	人	人	%
T L 調査産業計	162,895	7,561	5,709	164,747	18,311	11.1	159,794	7,706	5,528	161,972	62,834	38.8
D 建設業	21,766	246	350	21,662	316	1.5	4,005	87	37	4,055	289	7.1
E 製造業	33,272	661	340	33,593	1,356	4.0	21,437	533	285	21,685	4,380	20.2
G 情報通信業	1,612	38	6	1,644	38	2.3	1,395	38	97	1,336	28	2.1
H 運輸業、郵便業	15,879	1,026	74	16,831	449	2.7	2,701	31	3	2,729	1,152	42.2
I 卸売業、小売業	26,993	429	576	26,846	5,735	21.4	30,450	670	678	30,442	18,786	61.7
J 金融業、保険業	3,868	311	115	4,064	161	4.0	3,609	369	196	3,782	1,658	43.8
L 学術研究、専門・技術サービス業	3,967	275	142	4,100	207	5.0	1,601	36	31	1,606	227	14.1
M 宿泊業、飲食サービス業	5,977	439	527	5,889	1,205	20.5	11,825	182	529	11,478	8,089	70.5
N 生活関連サービス業、娯楽業	4,192	56	65	4,183	1,044	25.0	7,226	368	140	7,454	4,723	63.4
O 教育、学習支援業	8,627	1,565	928	9,264	1,304	14.1	8,804	1,803	1,003	9,604	2,559	26.6
P 医療、福祉	14,903	1,293	1,209	14,987	2,348	15.7	52,064	2,903	2,110	52,857	15,026	28.4
Q 複合サービス事業	3,794	371	246	3,919	505	12.9	1,788	105	163	1,730	336	19.4
R サービス業	15,155	668	1,030	14,793	3,171	21.4	11,171	569	253	11,487	4,351	37.9
E09.10 食品・たばこ	3,953	148	81	4,020	843	21.0	3,798	60	111	3,747	1,739	46.4
E11 繊維工業	1,274	2	17	1,259	2	0.2	7,111	165	39	7,237	458	6.3
E12 木材・木製品	2,430	27	26	2,431	83	3.4	532	11	0	543	50	9.2
E15 印刷・関連業	431	2	0	433	6	1.4	382	2	2	382	71	18.6
E21 窯業・土石	1,224	7	2	1,229	128	10.4	240	4	0	244	48	19.7
E24 金属製品	2,809	55	8	2,856	12	0.4	580	27	0	607	109	18.0
E28 電子・デバイス	6,121	35	92	6,064	55	0.9	4,124	80	51	4,153	1,228	29.6
E29 電気機械器具	1,140	29	2	1,167	52	4.5	1,083	10	0	1,093	63	5.8
E30 情報通信機械器具	375	6	4	377	7	1.9	228	0	0	228	60	26.3
E31 輸送用機械器具	883	8	21	870	4	0.5	252	2	0	254	50	19.7
E32.20 その他	456	0	2	454	37	8.1	446	0	33	413	201	48.7
ES-1 E一括分1	3,704	108	14	3,798	52	1.4	693	32	21	704	179	25.4
ES-2 E一括分2	6,766	202	66	6,902	75	1.1	1,372	107	25	1,454	124	8.5
I-1 卸売業	9,138	234	269	9,103	807	8.9	4,389	246	187	4,448	1,566	35.2
I-2 小売業	17,855	195	307	17,743	4,928	27.8	26,061	424	491	25,994	17,220	66.2
M75 宿泊業	2,306	6	60	2,252	340	15.1	4,534	34	60	4,508	2,802	62.2
MS M一括分	3,671	433	467	3,637	865	23.8	7,291	148	469	6,970	5,287	75.9

第6表 産業別性別常用労働者1人平均月間現金給与額、きまって支給する給与、所定内給与、超過労働給与及び特別に支払われた給与

(事業所規模30人以上)

産業	計						男			女			子			
	現金給与総額	きまって支給する給与	所定内給与	超過労働給与	特別に支払われた給与	現金給与総額	きまって支給する給与	特別に支払われた給与	現金給与総額	きまって支給する給与	特別に支払われた給与	現金給与総額	きまって支給する給与	特別に支払われた給与	現金給与総額	きまって支給する給与
T L 調査業	252,064	243,031	225,982	17,049	9,033	310,305	296,013	14,292	194,364	190,541	3,823					
D 建設業	342,786	310,926	293,156	17,770	31,860	356,098	323,299	32,799	248,081	222,904	25,177					
E 製造業	284,819	255,777	231,275	24,502	29,042	328,557	293,304	35,253	201,931	184,660	17,271					
G 情報通信業	338,778	338,690	310,686	28,004	88	394,065	393,934	131	224,440	224,440	0					
H 運輸業	318,361	312,558	258,775	53,783	5,803	337,682	331,863	5,819	206,807	201,094	5,713					
I 卸売業	163,688	162,412	155,767	6,645	1,276	204,958	203,904	1,054	136,717	135,297	1,420					
J 金融業	303,649	303,649	277,835	25,814	0	373,572	373,572	0	211,083	211,083	0					
L 学術研究、専門・技術サービス業	332,257	332,257	320,937	11,320	0	357,108	357,108	0	269,558	269,558	0					
M 宿泊業、飲食サービス業	131,768	130,982	126,771	4,211	786	169,590	168,831	759	106,878	106,074	804					
N 生活関連サービス業、娯楽業	151,900	151,900	140,574	11,326	0	221,529	221,529	0	92,093	92,093	0					
O 教育、学習支援業	380,737	380,426	373,112	7,314	311	435,113	435,079	34	310,822	310,155	667					
P 医療、福祉	252,820	252,184	237,563	14,621	636	352,554	351,773	781	223,768	223,174	594					
R サービス業	183,531	175,465	164,467	10,998	8,066	218,127	205,935	12,192	145,309	141,801	3,508					
E09,10 食料品・たばこ	193,918	190,784	177,862	12,922	3,134	227,794	225,097	2,697	157,002	153,393	3,609					
E11 繊維工業	173,949	173,949	164,295	9,654	0	244,576	244,576	0	160,278	160,278	0					
E12 木材・木製品	243,993	243,993	218,258	25,735	0	258,096	258,096	0	186,611	186,611	0					
E15 印刷・関連業	219,631	219,631	200,665	18,966	0	258,432	258,432	0	173,556	173,556	0					
E21 窯業・土石	275,010	275,010	243,703	31,307	0	293,610	293,610	0	197,312	197,312	0					
E24 金属製品	266,315	266,315	240,359	25,956	0	276,850	276,850	0	211,520	211,520	0					
E28 電子・デバイス	289,686	289,686	256,671	33,015	0	334,278	334,278	0	211,845	211,845	0					
E29 電気機械器具	249,360	249,360	234,277	15,083	0	293,064	293,064	0	184,905	184,905	0					
E30 情報通信機械器具	302,236	212,570	198,082	14,488	89,666	367,965	240,016	127,949	193,838	167,307	26,531					
E31 輸送用機械器具	252,189	252,189	223,886	28,303	0	269,529	269,529	0	192,119	192,119	0					
E32,20 その他	181,316	181,316	177,140	4,176	0	206,804	206,804	0	139,720	139,720	0					
ES-1 E一括分1	275,985	273,495	238,663	34,832	2,490	288,214	285,497	2,717	192,193	191,257	936					
ES-2 E一括分2	294,127	294,043	288,994	25,049	84	310,994	310,899	95	216,325	216,292	33					
I-1 卸売業	230,956	230,956	220,347	10,609	0	246,625	246,625	0	194,745	194,745	0					
I-2 小売業	151,093	149,578	143,675	5,903	1,515	188,873	187,412	1,461	131,758	130,216	1,542					
M75 宿泊業	153,797	152,545	148,909	3,636	1,252	199,330	198,146	1,184	122,764	121,466	1,298					
MS M一括分	94,549	94,549	89,366	5,183	0	116,373	116,373	0	81,020	81,020	0					

(単位：円)

(注) 複合サービス事業、業務用機械器具は、調査対象数が少ないため、非公表。

第7表 産業別性別常用労働者1人平均月間出勤日数、総実労働時間数、所定内労働時間数及び所定外労働時間数
(事業所規模30人以上)

産 業	計						男			女			
	出 勤 日 数	総 実 労働時間 時間	所 定 内 労働時間 時間	所 定 外 労働時間 時間	出 勤 日 数	総 実 労働時間 時間	出 勤 日 数	所 定 内 労働時間 時間	所 定 外 労働時間 時間	出 勤 日 数	総 実 労働時間 時間	所 定 内 労働時間 時間	所 定 外 労働時間 時間
T L	19.6	152.7	144.1	8.6	20.3	166.1	153.8	12.3	18.9	139.4	134.5	4.9	
D	21.4	168.0	159.5	8.5	21.5	169.5	160.7	8.8	20.3	156.3	150.3	6.0	
E	19.8	168.4	155.5	12.9	19.8	173.4	157.6	15.8	19.7	158.8	151.5	7.3	
G	20.2	166.7	153.7	13.0	20.3	169.6	155.4	14.2	20.1	160.7	150.1	10.6	
H	22.2	190.1	166.6	23.5	22.7	196.5	171.3	25.2	19.9	153.1	139.6	13.5	
I	19.8	133.7	128.8	4.9	20.0	145.8	138.4	7.4	19.7	125.8	122.5	3.3	
J	20.2	153.0	142.1	10.9	20.9	164.1	152.3	11.8	19.4	138.1	128.5	9.6	
L	21.5	167.1	158.6	8.5	21.8	170.1	160.3	9.8	21.0	159.4	154.2	5.2	
M	15.8	109.1	105.5	3.6	16.9	126.3	121.2	5.1	15.1	97.8	95.2	2.6	
N	21.6	131.5	123.1	8.4	22.5	177.5	159.7	17.8	20.9	92.0	91.6	0.4	
O	20.7	160.2	154.6	5.6	21.3	168.1	161.4	6.7	19.8	150.0	145.9	4.1	
P	18.7	145.4	140.6	4.8	20.1	153.7	147.9	5.8	18.3	143.0	138.5	4.5	
R	19.2	148.9	140.0	8.9	19.5	161.1	148.9	12.2	18.9	135.5	130.1	5.4	
E09,10	20.7	159.2	150.5	8.7	21.3	171.5	159.9	11.6	19.9	145.7	140.3	5.4	
E11	20.4	165.3	159.0	6.3	18.4	153.8	145.3	8.5	20.8	167.5	161.7	5.8	
E12	22.3	188.6	172.0	16.6	22.4	190.4	172.3	18.1	22.2	181.9	171.1	10.8	
E15	20.4	170.3	157.2	13.1	21.1	183.4	165.1	18.3	19.6	154.7	147.8	6.9	
E21	20.0	178.0	152.1	25.9	20.3	184.7	155.3	29.4	19.1	150.0	138.9	11.1	
E24	20.8	182.8	164.5	18.3	20.6	184.2	164.6	19.6	21.7	175.6	164.0	11.6	
E28	18.2	169.1	156.2	12.9	18.1	175.4	160.4	15.0	18.4	158.1	148.9	9.2	
E29	20.6	164.1	156.6	7.5	21.1	170.0	160.2	9.8	19.7	155.3	151.3	4.0	
E30	20.5	163.2	154.0	9.2	20.5	168.1	159.2	8.9	20.4	155.4	145.5	9.9	
E31	20.9	179.7	164.7	15.0	20.8	181.7	165.3	16.4	21.0	172.4	162.3	10.1	
E32,20	14.7	117.6	114.7	2.9	17.1	138.6	134.9	3.7	10.8	83.3	81.7	1.6	
ES-1	20.5	188.3	161.1	27.2	20.4	190.9	161.1	29.8	20.9	169.9	161.1	8.8	
ES-2	20.1	166.1	152.8	13.3	20.2	167.3	153.0	14.3	19.7	160.8	152.2	8.6	
I-1	21.3	166.2	159.1	7.1	21.4	169.4	161.4	8.0	21.3	158.9	153.8	5.1	
I-2	19.5	127.6	123.1	4.5	19.5	136.6	129.5	7.1	19.5	123.0	119.8	3.2	
M75	16.5	123.4	119.7	3.7	17.6	141.9	137.0	4.9	15.7	110.9	108.0	2.9	
MS	14.7	84.8	81.5	3.3	15.5	98.4	93.0	5.4	14.1	76.5	74.5	2.0	

第8-1表 産業別性別前調査期末、増加、減少及び本調査期間末常用労働者数並びにパートタイム労働者及びびパートタイム労働者比率（男女計）
（事業所規模30人以上）

産 業	前調査期間末 常用労働者数	増 加 常用労働者数	減 少 常用労働者数	本調査期間末 常用労働者数	うちパートタイム 労働者数	パートタイム 労働者比率	
						人	%
T L 調 査 産 業 計	172,720	9,849	5,087	177,482	40,948	23.1	
D 建 設 業	5,762	137	107	5,792	68	1.2	
E 製 造 業	38,094	841	485	38,450	2,592	6.7	
G 情 報 通 信 業	1,861	76	15	1,922	66	3.4	
H 運 輸 業, 郵 便 業	9,377	926	77	10,226	820	8.0	
I 卸 売 業, 小 売 業	23,183	919	779	23,323	13,289	57.0	
J 金 融 業, 保 険 業	2,456	162	115	2,503	726	29.0	
L 学術研究, 専門・技術サービス業	1,926	143	88	1,981	182	9.2	
M 宿泊業, 飲食サービス業	5,912	121	194	5,839	3,173	54.3	
N 生活関連サービス業, 娯楽業	4,560	59	7	4,612	2,315	50.2	
O 教育, 学習支援業	9,578	2,265	591	11,252	1,943	17.3	
P 医療, 福祉	45,459	2,811	1,914	46,356	10,235	22.1	
R 社 会 福 祉 業	19,237	994	435	19,796	4,617	23.3	
E09,10 食 料 品 ・ た ば こ 業	4,552	101	96	4,557	1,317	28.9	
E11 織 維 工 業	3,788	21	56	3,753	57	1.5	
E12 木 材 ・ 木 製 品	1,578	38	26	1,590	8	0.5	
E15 印 刷 ・ 同 関 連 業	349	4	2	351	21	6.0	
E21 窯 業 ・ 土 石	728	6	2	732	49	6.7	
E24 金 属 製 品	2,031	82	8	2,105	49	2.3	
E28 電 子 ・ デ バ イ ス	9,543	65	143	9,465	556	5.9	
E29 電 気 機 械 器 具	1,798	39	2	1,835	115	6.3	
E30 情 報 通 信 機 械 器 具	603	6	4	605	67	11.1	
E31 輸 送 用 機 械 器 具	1,135	10	21	1,124	54	4.8	
E32,20 その他	330	0	2	328	43	13.1	
ES-1 E 一 括 分 1	3,320	129	24	3,425	91	2.7	
ES-2 E 一 括 分 2	6,037	275	91	6,221	165	2.7	
I-1 卸 売 業	3,655	480	456	3,679	304	8.3	
I-2 小 売 業	19,528	439	323	19,644	12,985	66.1	
M75 宿 泊 業	3,731	40	120	3,651	1,207	33.1	
MS M 一 括 分	2,181	81	74	2,188	1,966	89.9	

第8-2表 産業別性別前調査期間末、増加、減少及び本調査期間末常用労働者数並びにパートタイム労働者及びパートタイム労働者比率（男女別）

(事業所規模30人以上)

産 業	男						女					
	前調査期間末常用労働者数	増加常用労働者数	減少常用労働者数	本調査期間末常用労働者数	うちパートタイム労働者数	パートタイム労働者比率	前調査期間末常用労働者数	増加常用労働者数	減少常用労働者数	本調査期間末常用労働者数	うちパートタイム労働者数	パートタイム労働者比率
	人	人	人	人	人	%	人	人	人	人	人	%
T L 調査産業計	85,831	5,560	2,938	88,453	9,963	11.3	86,889	4,289	2,149	89,029	30,985	34.8
D 建設業	5,050	126	96	5,080	25	0.5	712	11	11	712	43	6.0
E 製造業	24,930	538	293	25,175	710	2.8	13,164	303	192	13,275	1,882	14.2
G 情報通信業	1,259	38	6	1,291	38	2.9	602	38	9	631	28	4.4
H 運輸業、郵便業	7,944	895	74	8,765	318	3.6	1,433	31	3	1,461	502	34.4
I 卸売業、小売業	9,201	429	451	9,179	3,458	37.7	13,982	490	328	14,144	9,831	69.5
J 金融業、保険業	1,395	150	115	1,430	161	11.3	1,061	12	0	1,073	565	52.7
L 学術研究、専門・技術サービス業	1,382	107	73	1,416	70	4.9	544	36	15	565	112	19.8
M 宿泊業、飲食サービス業	2,376	31	119	2,288	900	39.3	3,536	90	75	3,551	2,273	64.0
N 生活関連サービス業、娯楽業	2,094	56	6	2,144	441	20.6	2,466	3	1	2,468	1,874	75.9
O 教育、学習支援業	5,343	1,365	334	6,374	756	11.9	4,235	900	257	4,878	1,187	24.3
P 医療、福祉	10,305	978	876	10,407	1,216	11.7	35,154	1,833	1,038	35,949	9,019	25.1
R サービス業	10,123	505	262	10,366	1,264	12.2	9,114	489	173	9,430	3,353	35.6
E09.10 食品・たばこ業	2,377	41	45	2,373	461	19.4	2,175	60	51	2,184	856	39.2
E11 繊維工業	619	2	17	604	2	0.3	3,169	19	39	3,149	55	1.7
E12 木材・木製品	1,271	27	26	1,272	4	0.3	307	11	0	318	4	1.3
E15 印刷・関連業	189	2	0	191	6	3.1	160	2	2	160	15	9.4
E21 窯業・土石	589	2	2	589	1	0.2	139	4	0	143	48	33.6
E24 金属製品	1,711	55	8	1,758	12	0.7	320	27	0	347	37	10.7
E28 電子・デバイス	6,071	35	92	6,014	30	0.5	3,472	30	51	3,451	526	15.2
E29 電気機械器具	1,069	29	2	1,096	52	4.7	729	10	0	739	63	8.5
E30 情報通信機械器具	375	6	4	377	7	1.9	228	0	0	228	60	26.3
E31 輸送用機械器具	883	8	21	870	4	0.5	252	2	0	254	50	19.7
E32.20 その他	205	0	2	203	4	2.0	125	0	0	125	39	31.2
ES-1 E-1 括分1	2,896	97	3	2,990	52	1.7	424	32	21	435	39	9.0
ES-2 E-2 括分2	4,969	202	66	5,105	75	1.5	1,068	73	25	1,116	90	8.1
I-1 卸売業	2,577	234	269	2,542	117	4.6	1,078	246	187	1,137	187	16.4
I-2 小売業	6,624	195	182	6,637	3,341	50.3	12,904	244	141	13,007	9,644	74.1
M75 宿泊業	1,523	6	60	1,469	210	14.3	2,208	34	60	2,182	997	45.7
MS M-1 一括	853	25	59	819	690	84.2	1,328	56	15	1,369	1,276	93.2

賃金・雇用指数の推移

(平成27年=100)

年	月	名目賃金 指 数 (現金給与総額)	対前年 (同月) 増 減 率	実質賃金 指 数 (現金給与総額)	対前年 (同月) 増 減 率	雇 用 指 数
規 模 5 人 以 上	平成27年	100.0	▲ 1.8	100.0	▲ 2.2	100.0
	28年	101.5	1.5	101.5	1.5	101.6
	29年	108.8	7.2	107.6	6.0	101.9
	30年	108.0	▲ 0.7	105.2	▲ 2.2	100.7
	令和元年	103.3	▲ 4.4	99.8	▲ 5.1	101.2
	令和2年	102.3	▲ 1.0	99.4	▲ 0.4	99.9
	令和2年 4月	87.5	▲ 1.9	85.0	▲ 1.3	101.6
	5月	85.8	▲ 2.5	83.3	▲ 1.7	101.2
	6月	130.8	▲ 9.8	127.0	▲ 9.4	100.9
	7月	113.4	0.4	110.3	0.7	100.5
	8月	96.8	4.3	94.2	4.4	98.2
	9月	89.7	3.3	86.8	3.5	97.9
	10月	89.2	1.0	86.9	2.2	98.2
	11月	95.5	6.0	93.7	8.2	98.4
12月	175.8	▲ 1.8	173.0	0.2	98.6	
令和 3年 1月	90.9	3.5	88.7	4.7	98.9	
2月	89.3	3.5	86.7	3.8	99.1	
3月	94.5	5.9	91.4	5.7	98.5	
4月	92.6	5.8	89.8	5.6	99.8	
規 模 30 人 以 上	平成27年	100.0	1.1	100.0	0.6	100.0
	28年	102.0	2.0	102.0	2.0	100.6
	29年	104.7	2.6	103.6	1.6	100.4
	30年	104.9	0.2	102.1	▲ 1.4	100.3
	令和元年	102.4	▲ 2.4	98.9	▲ 3.1	101.5
	令和2年	98.7	▲ 3.6	95.9	▲ 3.0	101.1
	令和2年 4月	83.2	▲ 4.8	80.8	▲ 4.3	101.8
	5月	84.3	▲ 2.5	81.8	▲ 1.8	101.2
	6月	138.9	▲ 8.0	134.9	▲ 7.6	101.2
	7月	106.2	▲ 2.8	103.3	▲ 2.5	100.9
	8月	86.7	▲ 1.7	84.3	▲ 1.6	101.3
	9月	84.1	▲ 0.2	81.3	▲ 0.2	100.6
	10月	84.1	▲ 3.0	82.0	▲ 1.7	100.9
	11月	86.8	▲ 1.4	85.2	0.8	101.1
12月	176.6	▲ 5.5	173.8	▲ 3.6	100.8	
令和 3年 1月	83.5	▲ 0.2	81.5	1.0	100.2	
2月	83.1	0.1	80.7	0.5	100.3	
3月	89.5	2.5	86.6	2.2	99.7	
4月	86.8	4.3	84.2	4.2	102.5	

(注1) 平成29年1月分速報公表時から、各指数の基準年を平成22年から平成27年に更新した。平成28年12月分までの指数については、平成29年1月分以降と比較できるよう、平成27年平均が100となるものに遡及改訂した。なお、平成28年12月分までの増減率については遡及改訂していない。

(注2) 労働者数推計のベンチマークを平成30年1月分で更新したことに伴い、常用雇用指数は過去に遡って改訂(r:改定値)。賃金、労働時間指数とその増減率は、過去に遡った改訂はしていない。

(注3) 実質賃金指数＝名目賃金指数／総務省公表「消費者物価指数」秋田市×100

毎月勤労統計調査地方調査の説明

1 調査の目的

この調査は、統計法に基づく基幹統計であって、雇用、給与および労働時間について、本県における毎月の変動を明らかにすることを目的としている。

2 調査の対象

この調査は、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「建設業」、「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」、「複合サービス事業」、「サービス業（他に分類されないもの）」において、常時5人以上の常用労働者を雇用する事業所の中から抽出された約570事業所について行っている。

3 調査結果の集計

公表数値は、調査事業所からの報告をもとにして本県の規模5人以上のすべての事業所に対応するよう復元された数値である。

4 調査事項の定義

(1) 現金給与額 所得税、社会保険料、組合費などを差し引く以前のいわゆる税込額のこと。

- ・「現金給与総額」 「現金給与総額」＝「きまって支給する給与」＋「特別に支払われた給与」
- ・「きまって支給する給与」 労働契約、団体協約あるいは事業所の給与規則などによりあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与で、超過労働給与を含む。
「きまって支給する給与」＝「所定内給与」＋「所定外給与」
- ・「所定内給与」 「きまって支給する給与」のうち超過労働給与（所定外給与）以外のもの。
- ・「所定外給与」（超過労働給与） 所定の労働時間を超える労働に対して支給される給与や、休日労働、深夜労働に対して支給される給与。時間外手当、早朝出勤手当、休日出勤手当、深夜手当等。
- ・「特別に支払われた給与」 現金給与のうち、「きまって支給する給与」を除いた部分であって、賞与、ベースアップが行われた場合の差額給与、3か月を超える期間で算定される現金給与、臨時に支払われた現金給与のこと。

(2) 実労働時間数

調査期間中に常用労働者が実際に労働した時間数のことである。休憩時間は、給与が支給されていると否とにかかわらず除かれるが、いわゆる手待時間は含める。本来の勤務外として行われる宿日直の時間は含めない。

- ・「所定内労働時間数」 事業所の就業規則で定められた正規の始業時刻と終業時刻との間の実労働時間数。
- ・「所定外労働時間数」 早出、残業、臨時の呼出、休日出勤などの実労働時間数のこと。
- ・「総実労働時間数」 「総実労働時間数」＝「所定内労働時間数」＋「所定外労働時間数」

(3) 出勤日数

調査期間中に労働者が実際に出勤した日数のことである。事業所に出勤しない日は、有給でも出勤日にならないが、1日のうち1時間でも就業すれば出勤日となる。

(4) 常用労働者

- ・「常用労働者」 期間を定めずに、または1か月以上の期間を定めて雇われている者。重役や理事であっても常時事務所に出勤のうえ一定の業務に従事し、他の従業員と同じ給与規則によって給与を受ける者は常用労働者に含まれる。

- ┌「一般労働者」 「常用労働者」のうち「パートタイム労働者」を除いた労働者をいう。
- └「パートタイム労働者」 「常用労働者」のうち、1日の所定労働時間が一般の労働者より短い者、あるいは1日の所定労働時間が一般の労働者と同じで週の所定労働日数が一般の労働者より少ない者である。

参 考

全国・秋田県の結果（令和3年3月分確報値）

（調査産業計・事業所規模5人以上）

区 分	全 国		秋 田 県	
	実 数	前年比(差)	実 数	前年比(差)
現金給与総額	282,898	0.6%	245,182	5.9%
きまって支給する給与 (円)	264,360	0.5%	232,042	4.0%
所定内給与 (円)	246,023	1.0%	216,592	4.0%
特別に支払われた給与 (円)	18,538	0.6%	13,140	54.4%
出勤日数 (日)	18.0	0.2日	19.5	0.3日
総実労働時間 (時間)	138.2	0.8%	148.8	2.8%
所定内労働時間 (時間)	128.2	1.1%	140.1	2.2%
所定外労働時間 (時間)	10.0	▲1.9%	8.7	12.9%
本調査期間末労働者数 (千人)	51,273	0.7%	323	▲2.0%
入職率 (%)	1.84	0.07ポイント	1.43	▲0.48ポイント
離職率 (%)	2.26	▲0.18ポイント	2.19	▲0.34ポイント

注1) ①出勤日数、入職率、離職率は前年差

②県の本調査期間末労働者数は千人未満四捨五入

注2) ①全国値は令和元年6月分速報から「500人以上規模の事業所」について全数調査による値に変更している

②全国値は平成24年以降について東京都の「500人以上規模の事業所」についても再集計した値（再集計値）に変更しており、従来の公表値とは接続しないことに注意

資料(全国)：厚生労働省政策統括官付参事官付雇用・賃金福祉統計室

○厚生労働省ホームページに毎月勤労統計調査「全国調査」結果の一部が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/>

○秋田県調査統計課ホームページに毎月勤労統計調査「地方調査」結果の概要が掲載されています。

<http://www.pref.akita.lg.jp/tokei/>

○毎月勤労統計調査の利用例

- ・失業給付（基本手当）の改訂
 - ・労災保険給付額の改訂
 - ・未払賃金立替払額の決定
 - ・最低賃金決定の資料
 - ・月例経済報告、景気動向指数等の経済分析資料
 - ・国民経済計算、県民経済計算の推計資料
 - ・建設工事の労務単価の算定基礎資料
 - ・ILO、OECD等国际機関への資料提供
- このほかにもいろいろな方面で利用されています！

○次回の公表日








令和3年5月分集計の速報の公表は、令和3年7月下旬を予定しています。





毎月勤労統計調査にご協力いただきましてありがとうございます。
この調査についてのお問い合わせは、次へお願いします。

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号
秋田県企画振興部調査統計課 経済統計班
TEL 018-860-1256
FAX 018-860-1252
E-mail: toukeika@pref.akita.lg.jp
美の国あきたネット掲載 有

県内金融経済概況

【基調判断】

項目	前回からの変化	基調判断
県内概況		県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状態にあるものの、緩やかに持ち直している。
個人消費		サービス消費が落ち込んでいるものの、全体としては持ち直し基調にある。
公共投資		緩やかな増加基調にある。
住宅投資		下げ止まっている。
設備投資		製造業を中心に持ち直している。
生産		回復している。
雇用・所得		一部に弱い動きがみられるものの、持ち直し基調にある。

前回からの変化「」、「」は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いが変化したことを示す（例えば、改善度合いの強まりまたは悪化度合いの弱まりは、「」）。なお、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、「」となる。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

日本銀行秋田支店 総務課

TEL : 018-824-7802

ホームページ : <https://www3.boj.or.jp/akita/>

【各論】

1. 需要項目別動向

個人消費は、サービス消費が落ち込んでいるものの、全体としては持ち直し基調にある。

大型小売店売上高は、緩やかな増加基調にある。家電販売は、堅調に推移している。乗用車販売は、引き合いは堅調なもの、供給制約の影響がみられている。

《参考》

県内観光施設の利用者数や宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響から、弱い動きとなっている。

公共投資は、緩やかな増加基調にある。

6月の公共工事請負金額は、県、市町村などで減少したことから前年を下回った（前年比▲12.9%）。工事出来高ベースでは、堅調に推移している。

住宅投資は、下げ止まっている。

5月の新設住宅着工戸数は、分譲などが前年を上回ったことから、前年を上回った（前年比+42.8%）。

設備投資は、製造業を中心に持ち直している。

2021年6月短観（秋田県内）の設備投資計画をみると、2021年度は、全産業では2年ぶりに増加する計画となっている（全産業：前年度比+32.6%、製造業：同+47.4%、非製造業：同▲9.7%）。

この間、生産・営業用設備判断D.I.をみると、全産業では、横ばいとなった（全産業：前回0→今回0、製造業：同▲4→0、非製造業：同1→0）。

2. 生産

生産は、回復している。

主力の電子部品・デバイスは、増加している。

汎用・業務用機械は、堅調に推移している。

生産用機械は、持ち直している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直し基調にある。

有効求人倍率（5月は1.48倍＜前月差+0.13ポイント＞）は、一部に弱い動きがみられるものの、改善傾向にある。新規求人数は、前年を上回った。

現金給与総額（4月）は、きまって支給する給与、特別給与がともに前年を上回ったことから、前年を上回った。

雇用者所得（4月）は、常用雇用指数が前年を下回ったものの、現金給与総額が前年を上回ったことから、前年を上回った。

4. 物価

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合＜秋田市＞）は、前年を上回った（前年比：4月+0.5%→5月+0.5%→6月+0.5%）。

この間、「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」では、前年を下回った（同：4月0.0%→5月▲0.5%→6月▲0.4%）。

5. 企業倒産

6月の企業倒産（負債総額10百万円以上）の発生状況をみると、件数、負債総額とも前年同月の水準を下回った（件数1件＜前年比▲80.0%＞、負債総額0.4億円＜同▲94.8%＞）。

6. 金融情勢

貸出は、前年を大幅に上回って推移している。

個人向けは前年を下回って推移しているものの、法人向けが前年を大幅に上回って推移していることから、全体では前年を大幅に上回って推移している（前年比：3月+6.2%→4月+5.2%→5月+5.0%）。

貸出約定平均金利は、緩やかな低下傾向にある。

5月の貸出約定平均金利（総合）は、前月に比べ低下した（ストックベース総合：3月0.915%→4月0.909%→5月0.899%）。

預金は、前年を大幅に上回って推移している。

実質預金（含むNCD）は、個人・法人預金を中心に前年を大幅に上回って推移している（前年比：3月+9.9%→4月+9.0%→5月+6.9%）。

以 上

秋田県内主要経済指標(1)

(指標名欄の<>内に指示されている場合を除き、前年比%)

資源出所 秋田支店	個人消費					公共・住宅・設備投資					生産		労働需給・賃金					物価	
	大型小売店 売上高	販売額	乗用車	軽乗用車	延べ宿泊者数	公共工事 請負金額	新設住宅着工戸数			着工床面積 (非居住用)	加工業生産指数 <季節調整済指数、2015年=100>	有効求人倍率 <季節別、倍>	新規求人数 (全数) <年度>	新規求職者数 (全数) <年度>	常用雇用指数 <従業員5人以上>	現金給与総額 ※4	雇用者所得	消費者物価指数	
	※1.1	※1.2	※1.3	※1.4	※1.5	※1.6	持家	貸家	分譲	電子部品・ デバイス	<前月(期)比>	<前月(期)比>	<前月(期)比>	<前月(期)比>	従業員5人以上	従業員5人以上	従業員5人以上	秋田県、2015年=100	
2019年	0.0	▲5.0	▲4.9	▲5.0	42	104	▲3.4	▲1.7	▲232	48	-	-	▲7.9	▲3.2	0.5	▲4.4	▲3.9	102.5	0.7
2020年	3.2	▲10.5	▲10.9	▲10.0	▲30.3	9.8	▲8.8	▲14.3	▲10.6	▲4.7	-	-	▲8.1	▲6.4	▲1.3	▲1.0	▲2.2	101.9	▲0.6
2019/7-9月	▲0.1	6.5	6.1	7.0	2.1	33.0	▲25.6	▲10.9	▲27.6	▲22.9	89.0	1.46	▲7.8	3.8	2.0	▲2.3	▲0.4	102.4	0.4
10-12月	▲0.3	▲20.4	▲18.4	▲23.0	▲2.1	10.1	▲4.0	▲1.38	▲6.2	▲24.0	99.4	1.46	▲6.3	▲5.1	0.7	▲4.0	▲3.3	102.9	0.6
2020/1-3月	2.9	▲9.5	▲10.7	▲7.9	7.9	9.2	4.9	▲12.3	35.7	▲42.6	106.5	1.38	▲11.7	▲6.0	▲0.3	▲1.6	▲1.9	102.5	0.4
4-6月	5.3	▲30.2	▲26.2	▲35.4	75.5	20.5	▲15.2	▲23.3	4.8	▲18.3	95.9	1.30	▲17.6	▲8.0	0.7	▲5.6	▲4.9	101.9	▲0.7
7-9月	0.5	▲12.5	▲14.1	▲10.3	35.6	17.4	▲10.9	▲5.8	▲22.7	24.2	92.4	1.25	▲12.6	▲11.9	▲3.0	2.6	▲0.6	101.9	▲0.5
10-12月	4.1	15.8	12.7	20.0	3.4	38.3	▲9.8	7.3	▲38.6	27.4	95.8	1.23	▲7.5	▲5.1	▲2.7	0.9	▲1.8	101.5	▲1.4
2021/1-3月	1.4	▲0.5	▲3.0	2.6	35.7	23.9	5.5	2.6	▲4.5	51.4	99.0	1.32	5.7	▲1.2	▲2.3	4.3	2.0	102.1	▲0.4
4-6月	n.a.	12.0	3.2	25.2	n.a.	▲9.7	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	102.4	0.5
2020/6月	5.7	▲12.6	▲19.1	▲3.3	66.5	24.9	5.2	▲11.8	▲16.7	68.0	95.5	1.27	▲6.9	▲0.6	▲0.6	▲9.8	▲10.3	102.0	▲0.6
7月	3.7	▲10.6	▲18.8	▲0.4	31.5	▲31.4	▲24.6	▲15.2	▲45.0	▲16.7	93.0	1.26	▲19.3	▲16.5	▲1.4	0.4	1.7	101.9	▲0.5
8月	▲1.0	▲9.9	▲5.4	▲15.4	45.1	▲39.3	▲2.7	2.4	▲20.0	16.7	89.4	1.25	▲15.2	▲9.0	▲3.8	4.3	3.3	101.7	▲0.7
9月	▲1.0	▲14.6	▲15.1	▲14.1	28.1	40.2	▲0.9	▲1.9	13.7	▲19.0	94.9	1.24	▲3.3	▲9.6	▲3.9	3.3	2.7	102.0	▲0.4
10月	6.4	37.8	36.0	40.0	6.2	▲39.6	▲10.0	11.5	▲61.6	15.6	92.1	1.23	▲16.5	▲5.3	▲2.4	1.0	2.4	101.6	▲1.4
11月	4.2	6.8	9.5	3.6	11.1	103.5	10.8	17.9	13.6	▲17.8	96.2	1.23	▲1.7	▲8.4	▲2.7	6.0	1.5	101.5	▲1.6
12月	2.4	4.1	▲5.1	19.2	18	112.0	▲28.3	▲7.9	▲59.5	19.6	99.0	1.23	▲2.5	▲1.6	▲2.9	▲1.8	0.9	101.4	▲1.3
2021/1月	5.1	6.5	0.7	13.1	50.4	329.1	▲23.0	0.8	▲52.3	▲34.0	94.3	1.31	▲6.1	▲18.2	▲2.8	3.5	3.9	101.7	▲1.0
2月	▲1.5	▲10.7	▲10.6	▲10.9	36.8	▲46.6	32.8	6.7	205.3	▲5.2	100.7	1.31	12.0	5.9	▲2.0	3.5	2.8	102.0	▲0.5
3月	0.6	12.6	2.4	▲0.3	6.1	39.2	9.8	1.1	▲3.1	73.1	102.1	1.33	10.8	10.3	▲2.0	5.9	4.0	102.7	0.3
4月	0.6	13.2	17.0	▲0.2	44.8	▲6.3	▲27.8	▲4.4	▲92.6	▲34.3	103.7	1.35	21.3	4.0	▲1.8	5.8	3.5	102.4	0.5
5月	▲1.3	▲47.2	23.1	93.6	n.a.	▲12.8	42.8	13.3	▲10.3	936.4	n.a.	1.48	23.6	▲7.1	n.a.	n.a.	n.a.	102.4	0.5
6月	n.a.	▲11.2	▲7.6	▲15.4	n.a.	▲12.9	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	102.5	0.5
資源出所	日本銀行 秋田支店	経済産業省	秋田県自動車販売店協会	秋田県自動車販売店協会	観光庁	東日本建設業 協会秋田支部	秋田県	秋田県	秋田県	国土交通省	秋田県	秋田労働局	秋田労働局	秋田県	秋田県	秋田県	日本銀行 秋田支店	総務省	

rは訂正値。

※1 四半期の値は、日本銀行秋田支店が算出。

※2 ホテル、旅館等の車内宿泊者数、2021年以降の計数は速報値。

※3 前年比については、情報システムを利用して機械集計しているため、他の公表、掲載計数は計数の末尾の値が異なる場合がある。

※4 秋田県毎月勤労統計の常用雇用指数、現金給与総額を基に、日本銀行秋田支店が算出。

※5 最近値は速報値。

秋田県内主要経済指標(2)

(指標名欄の<>内に指示されている場合を除き、前年比%、億円、%)

	金融													
	倒産					金 融								
	倒産件数		負債総額			実質預金 + 譲渡性預金(NCD) ^{※1,2}		個人預金		法人預金		貸出 ^{※1,2}		貸出約定平均金利 ^{※2,3} ストックベース
	<件>	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	総合	
2019年	39	▲ 18.8	65	▲ 34.9	39,351	1.3	27,377	1.7	8,012	2.0	20,396	▲ 0.6	1,016	
2020年	44	12.8	47	▲ 28.3	42,878	9.0	29,052	6.1	9,561	19.3	21,076	3.3	0,928	
2019/7-9月	12	▲ 29.4	14	▲ 44.4	38,516	▲ 0.3	26,685	0.8	7,796	▲ 2.1	20,398	▲ 1.3	1,027	
10-12月	9	12.5	13	225.7	39,351	1.3	27,377	1.7	8,012	2.0	20,396	▲ 0.6	1,016	
2020/1-3月	16	100.0	17	▲ 29.6	38,577	0.8	27,117	2.0	7,693	▲ 1.1	20,044	▲ 1.7	1,009	
4-6月	10	0.0	13	12.0	41,780	5.2	28,354	4.8	8,798	9.0	20,562	1.2	0,977	
7-9月	11	▲ 8.3	10	▲ 30.5	41,592	8.0	28,251	5.9	9,097	16.7	20,963	2.8	0,963	
10-12月	7	▲ 22.2	5	▲ 61.2	42,878	9.0	29,052	6.1	9,561	19.3	21,076	3.3	0,928	
2021/1-3月	2	▲ 87.5	0	▲ 96.4	42,413	9.9	29,022	7.0	9,391	22.1	21,287	6.2	0,915	
4-6月	5	▲ 50.0	15	13.7	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	
2020/6月	5	150.0	8	449.3	41,780	5.2	28,354	4.8	8,798	9.0	20,562	1.2	0,977	
7月	3	0.0	5	120.6	41,579	6.6	28,191	5.2	8,861	15.2	20,811	2.6	0,970	
8月	6	20.0	4	▲ 19.6	41,808	6.8	28,425	5.4	8,870	12.4	20,843	2.5	0,961	
9月	2	▲ 50.0	0	▲ 93.7	41,592	8.0	28,251	5.9	9,097	16.7	20,963	2.8	0,963	
10月	2	0.0	0	▲ 83.5	41,997	8.8	28,563	6.0	9,435	21.6	21,044	2.5	0,945	
11月	3	▲ 40.0	4	▲ 55.3	42,197	7.9	28,382	5.9	9,239	15.5	20,900	3.3	0,931	
12月	2	0.0	0	▲ 64.0	42,878	9.0	29,052	6.1	9,561	19.3	21,076	3.3	0,928	
2021/1月	0	▲ 100.0	0	▲ 100.0	42,745	10.5	28,897	6.5	9,531	24.9	21,403	4.8	0,923	
2月	0	▲ 100.0	0	▲ 100.0	42,753	10.1	29,281	7.1	9,431	20.9	21,505	5.5	0,916	
3月	2	▲ 50.0	0	▲ 67.2	42,413	9.9	29,022	7.0	9,391	22.1	21,287	6.2	0,915	
4月	1	▲ 80.0	11	112.5	43,120	9.0	29,430	6.8	10,044	18.9	21,196	5.2	0,909	
5月	3	-	3	-	43,496	6.9	29,120	5.5	9,822	11.5	21,364	5.0	0,899	
6月	1	▲ 80.0	0	▲ 94.8	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	
資料出所	東京商工リサーチ秋田支店										日本銀行秋田支店			

rは訂正値、計算不能欄については「-」(ハイフン)としている。

※1 貸出残高・実質預金残高…①国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の秋田県内店舗の集計値。②銀行勘定を集計。ただし、オフショア勘定を除く。

※2 貸出約定平均金利…①秋田県内に本店を置く地方銀行および信用金庫における貸出金利を加重平均したものの、②地方銀行の貸出金利、貸出残高は銀行勘定の円貸出(金融機関向け貸出を除く)。

※3 貸出約定平均金利…①秋田県内に本店を置く地方銀行および信用金庫における貸出金利、貸出残高は銀行勘定の円貸出(金融機関向け貸出を除く)。

※4 貸出約定平均金利…①秋田県内に本店を置く地方銀行および信用金庫における貸出金利、貸出残高は銀行勘定の円貸出(金融機関向け貸出を除く)。

※5 借入金庫は全額借入金庫協会の。

秋田県内「全国企業短期経済観測調査」結果 2021年6月調査

日本銀行秋田支店

<2021年7月1日>

回答期間	: 2021年5月27日(木)～6月30日(水)
調査企業数	: 147社(製造業51社、非製造業96社)
回答企業数	: 147社(製造業51社、非製造業96社)
回答率	: 100%

問い合わせ先 : 日本銀行秋田支店総務課
TEL : 018-824-7802
<https://www3.boj.or.jp/akita/>

1. 業況判断D. I.

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	有効回答 企業数	2021/3月		6月		9月予測	
			6月予測		変化幅		変化幅
全産業	147	▲ 15	▲ 12	▲ 9	6	▲ 12	▲ 3
製造業	51	▲ 11	4	0	11	10	10
食料品	7	▲ 43	▲ 29	▲ 43	0	▲ 29	14
木材・木製品	4	▲ 25	0	0	25	25	25
鉄鋼・金属	5	▲ 20	▲ 40	▲ 20	0	▲ 20	0
はん用・生産用・業務用機械	7	0	15	15	15	15	0
電気機械	10	20	50	30	10	40	10
非製造業	96	▲ 16	▲ 21	▲ 12	4	▲ 24	▲ 12
建設	23	18	0	21	3	0	▲ 21
卸売	5	▲ 40	▲ 20	▲ 40	0	▲ 40	0
小売	19	▲ 10	▲ 10	▲ 15	▲ 5	▲ 21	▲ 6
運輸・郵便	11	▲ 55	▲ 55	▲ 27	28	▲ 55	▲ 28
対事業所サービス	9	▲ 11	▲ 11	0	11	0	0
対個人サービス	7	▲ 43	▲ 57	▲ 29	14	▲ 43	▲ 14
宿泊・飲食サービス	10	▲ 70	▲ 60	▲ 60	10	▲ 80	▲ 20

2. 売上高

(前年度比<%>、()内は前回調査比修正率<%>)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2020年度		2021年度 計画	2021年度	
			上期	下期		上期	下期
全産業		(0.6)	(0.2)	(0.8)	(1.6)	(2.3)	(0.9)
	▲ 4.6	7.9	2.4	13.4	6.2	10.4	2.3
製造業		(0.9)	(0.0)	(1.7)	(2.7)	(3.6)	(1.9)
	▲ 6.0	▲ 4.3	▲ 12.6	4.0	10.9	18.5	4.5
非製造業		(0.2)	(0.5)	(▲0.1)	(0.3)	(0.8)	(▲0.2)
	▲ 2.7	24.5	23.1	25.9	1.2	2.5	▲ 0.1

3. 経常利益

(前年度比<%>、()内は前回調査比修正率<%>)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2020年度		2021年度 計画	2021年度	
			上期	下期		上期	下期
全産業		(41.9)	(19.8)	(48.0)	(30.8)	(50.3)	(21.6)
	▲ 36.6	▲ 0.2	▲ 64.4	58.0	25.0	2.7倍	▲ 4.0
製造業		(2.1倍)	(赤字幅縮小)	(92.1)	(71.9)	(2.7倍)	(45.4)
	▲ 56.9	0.0	赤字転化	55.0	63.6	黒字転化	2.2
非製造業		(19.2)	(16.8)	(20.6)	(5.3)	(9.7)	(2.5)
	▲ 15.9	▲ 0.4	▲ 44.7	61.3	0.0	21.7	▲ 10.4

4. 設備投資計画 (リース会計対応ベース)

(前年度比<%>、()内は前回調査比修正率<%>)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 計画
全産業		(1.4)	(▲1.0)
	13.8	▲ 18.2	32.6
製造業		(0.6)	(▲1.5)
	11.3	▲ 19.9	47.4
非製造業		(3.8)	(1.4)
	22.3	▲ 12.8	▲ 9.7

(注) ソフトウェア投資額、研究開発投資額は含まない。

5. 需給・在庫水準・価格判断D. I.

(%ポイント)

		2021/3月		6月		9月予測	
			6月予測		変化幅		変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	▲ 16	▲ 14	▲ 8	8	▲ 10	▲ 2
	非製造業	▲ 28	▲ 29	▲ 28	0	▲ 27	1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	0	---	▲ 10	▲ 10	---	---
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	▲ 12	▲ 8	6	18	▲ 8	▲ 14
	非製造業	▲ 1	▲ 3	▲ 2	▲ 1	2	4
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	27	33	41	14	45	4
	非製造業	24	28	25	1	29	4

6. 生産・営業用設備判断D. I.

(「過剰」-「不足」・%ポイント)

	2021/3月		6月		9月予測	
		6月予測		変化幅		変化幅
全産業	0	▲ 3	0	0	▲ 1	▲ 1
製造業	▲ 4	▲ 6	0	4	▲ 2	▲ 2
非製造業	1	▲ 1	0	▲ 1	▲ 2	▲ 2

7. 雇人員判断D. I.

(「過剰」-「不足」・%ポイント)

	2021/3月		6月		9月予測	
		6月予測		変化幅		変化幅
全産業	▲ 25	▲ 26	▲ 21	4	▲ 27	▲ 6
製造業	▲ 15	▲ 8	▲ 10	5	▲ 14	▲ 4
非製造業	▲ 31	▲ 36	▲ 28	3	▲ 34	▲ 6

(参考)

(前年度比、%)

	2020年度		2021年度計画		2022年度計画	
		修正率		修正率		修正率
新卒採用者数 全産業	▲ 2.0	1.5	▲ 7.5	6.8	7.2	---

(注) 新卒採用計画は6、12月調査のみ。

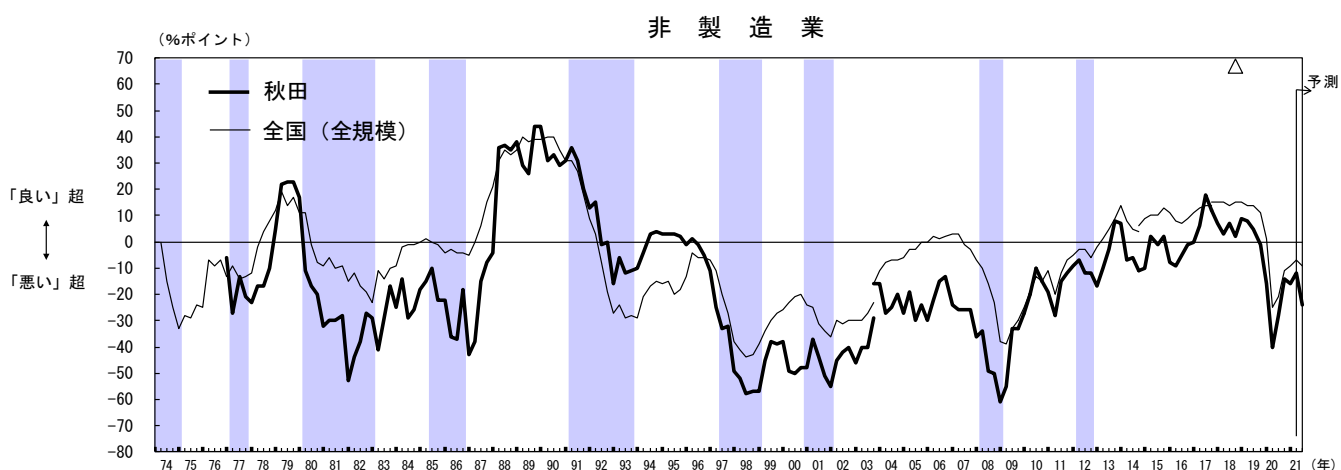
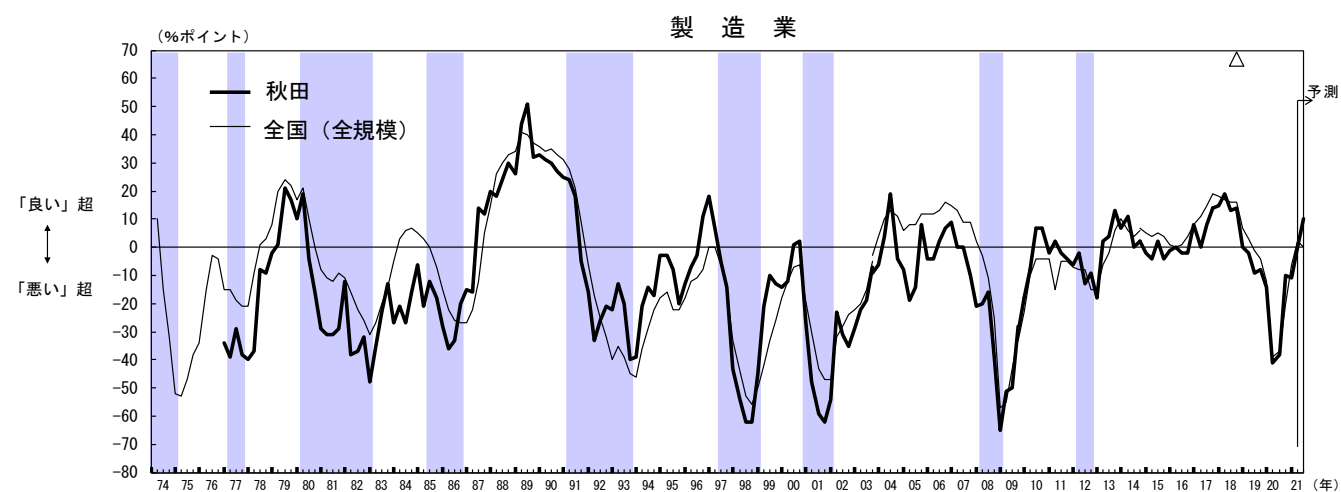
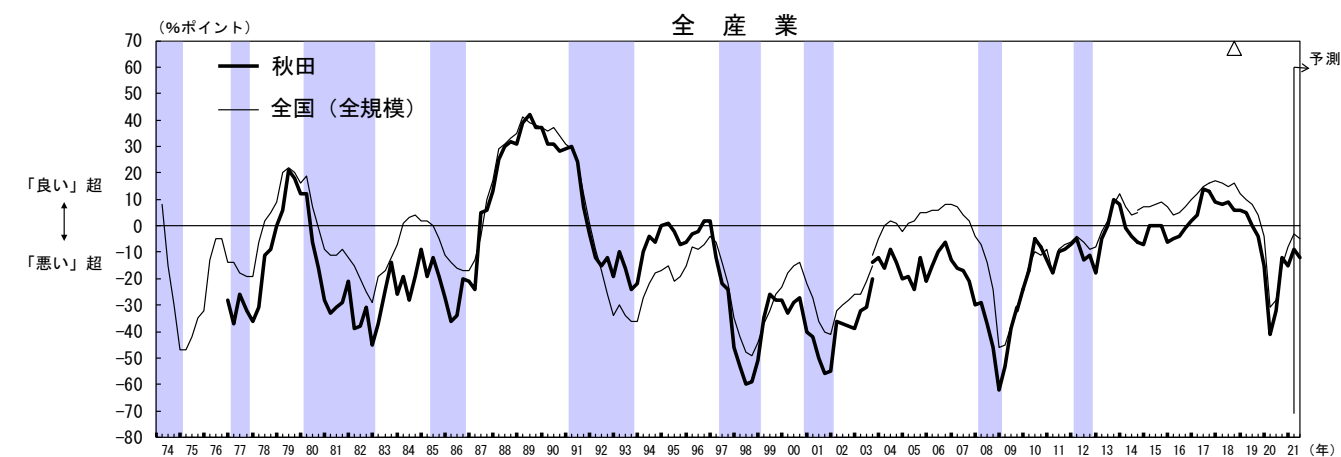
8. 企業金融判断D. I.

(%ポイント)

		2021/3月		6月		9月予測	
			6月予測		変化幅		変化幅
資金繰り判断 (「楽である」-「苦しい」)	全産業	1	---	4	3	---	---
	製造業	▲ 4	---	11	15	---	---
	非製造業	3	---	1	▲ 2	---	---
金融機関の貸出態度判断 (「緩い」-「厳しい」)	全産業	15	---	16	1	---	---
	製造業	12	---	17	5	---	---
	非製造業	16	---	15	▲ 1	---	---
借入金利水準判断 (「上昇」-「低下」)	全産業	▲ 5	▲ 4	▲ 5	0	▲ 5	0
	製造業	▲ 10	▲ 5	▲ 5	5	▲ 5	0
	非製造業	▲ 2	▲ 3	▲ 6	▲ 4	▲ 5	1

(参考) 業況判断D.I.の推移 (全国・秋田)

(注) グラフのシャドーは景気後退期(内閣府調べ)。△は直近(2018年10月)の景気の山。



第2回 秋田地方最低賃金審議会

(令和3年7月26日開催)

<参考資料>

●最低賃金について

●最低賃金を引き上げやすい環境整備について

※令和3年7月21日開催

経済財政諮問会議（令和3年第11回）資料

令和3年度の最低賃金の引上げについて

7月16日、中央最低賃金審議会において、令和3年度の最低賃金引上げの目安額の答申がなされた。令和3年度の目安額は、全国加重平均で28円の引上げとなり、昭和53年に目安制度が始まって以降最高。今後、この目安額を踏まえ、各地方最低賃金審議会で改定額を議論。

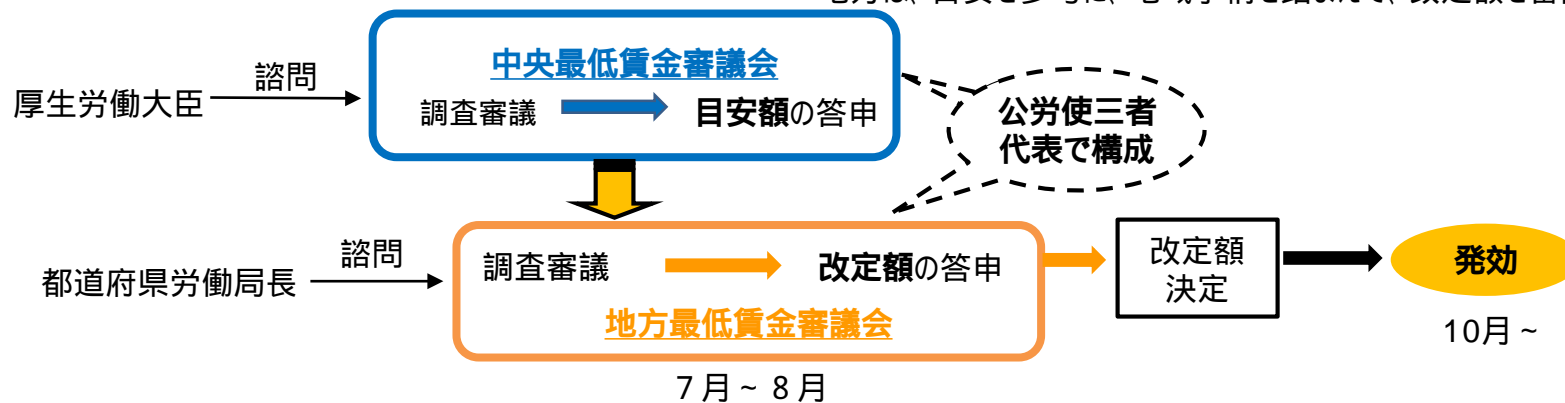
引上げ額の目安 (全国加重平均)	28円 A～D全ランク28円
引上げ率(%) 目安額通りに決定した場合	3.1%
全国加重平均(円) 目安額通りに決定した場合	930円

経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日)(抄)

我が国の労働分配率は長年にわたり低下傾向にあり、さらに感染症の影響で賃金格差が広がる中で、格差是正には最低賃金の引き上げが不可欠である。感染症の影響を受けて厳しい業況の企業に配慮しつつ、雇用維持との両立を図りながら賃上げしやすい環境を整備するため、生産性向上等に取り組む中小企業への支援強化、下請取引の適正化、金融支援等に一層取り組みつつ、最低賃金について、感染症下でも最低賃金を引き上げてきた諸外国の取組も参考にして、感染症拡大前に我が国で引き上げてきた実績を踏まえて、地域間格差にも配慮しながら、より早期に全国加重平均1000円とすることを目指し、本年の引上げに取り組む。

(参考) 最低賃金決定の流れ

中央は、全都道府県を経済指標に基づきA～Dの4ランクに分けて、目安額を提示。地方は、目安を参考に、地域事情を踏まえて、改定額を審議。



最低賃金を引き上げやすい環境整備

新型コロナウイルス感染拡大の影響によって特に厳しい業況にある中小企業等の雇用維持に対する支援（雇用調整助成金等）

- Ⅰ 年末までは特に業況の厳しい企業への配慮を継続するとともに、原則的な措置を含めてリーマンショック時（中小企業 最大9/10）以上の助成率を維持する
- Ⅰ 業況特例等の対象となる中小企業が事業場内で最も低い時間給を一定以上引き上げる場合、地域別最低賃金が引き上がる10月から年末までの3か月間、休業規模要件を問わずに支給する（緊急雇用安定助成金（一般会計）で対応）
- Ⅰ コロナ下における特例として、企業グループ内での在籍型出向により雇用維持を図る企業についても、産業雇用安定助成金の助成対象とする

中小企業・小規模事業者の生産性向上支援策

- Ⅰ 事業場内で最も低い時間給を一定以上引き上げ、生産性向上に取り組んだ場合に支給される業務改善助成金の取組を進める。
 - Ⅱ コロナ禍で特に影響を受けている事業主（前年又は前々年比較で売上等30%減）等への特例
 - ・ 引上げ対象人数の拡大（最大「10人以上」のメニュー新設）
 - ・ 助成上限額の引上げ（450万円 600万円）
 - ・ 設備投資等の範囲の拡充（賃上げ30円以上とする場合、生産性向上に資する自動車やパソコン等を補助対象に）
 - Ⅱ 全事業主を対象とする特例
 - ・ 45円コースを新設
 - ・ 同一年度内の複数回申請・受給を認める
- Ⅰ 事業再構築補助金・中小企業生産性革命推進事業の運用改善
 - Ⅱ 厳しい業況にある中小企業・小規模事業者や、より積極的に賃上げに取り組む中小企業・小規模事業者を集中的に支援するため、事業再構築補助金や中小企業生産性革命推進事業について、使い勝手の向上を図りつつ、特別枠の設定や、補助上限額の見直し、経営実態・企業規模を踏まえた運用見直しを行う。
（例えば、事業再構築補助金においては、通常2/3の補助率を3/4に引き上げた最低賃金特別枠の創設や、通常枠の上限額を従業員規模に応じ、最大8,000万円に引き上げる等の見直しを実施。）

下請取引の適正化

- 1 サプライチェーン全体の共存共栄に向けて、価格決定方法等の取引適正化に重点的に取り組むことを企業が宣言する「パートナーシップ構築宣言」を推進し、今年度中に2,000社となるよう、更なる利用拡大を図る。
- 1 最低賃金を含む労務費等の上昇分の価格転嫁協議が促進されるよう、9月を「価格交渉促進月間」として設定し、下請Gメンが重点的に調査
- 1 最低賃金改定に際して、率先垂範の立場から、官公庁は、官公需の受注事業者からの申し出の有無に関わらず、契約金額の見直しの必要性を確認

既存施策の推進による収益力強化

- 1 AI・ICT活用等を盛り込んだ生産性向上マニュアルの作成やセミナーの開催等による生活衛生関係営業収益力向上の推進
- 1 地域全体で魅力と収益力を高めるための既存観光拠点の再生や地域の観光資源の磨き上げを通じた、宿泊施設・観光地の収益力向上支援等を推進

厳しい業況を乗り切るための更なる支援策の検討

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化で厳しい業況に追い込まれている中小企業・小規模事業者に対し、売上減少等の状況や最低賃金引上げ等に伴う雇用コスト増を十分に踏まえた激変緩和の観点から、事業存続・雇用維持に向けた支援策の強化について、与党における検討も踏まえながら、順次実行

雇用調整助成金の対応

年末まで特に業況の厳しい企業への配慮を継続・リーマンショック時の助成率を確保

助成率	5～9月	10月	11月	12月
業況特例・地域特例	10/10	年末までは業況特例等及び原則的な措置を含めてリーマンショック時(中小企業:最大9/10)以上の助成率を維持		
原則的措置	9/10			

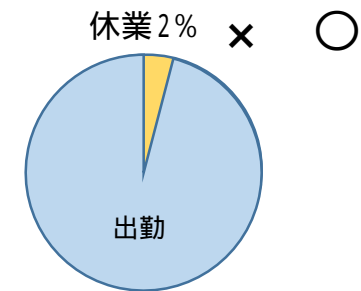
中小企業・解雇なしの場合 (注) 上限額については、骨太方針2021における「雇用調整助成金の特例措置等については、引き続き、感染が拡大している地域・特に業況が厳しい企業に配慮しつつ、雇用情勢を見極めながら段階的に縮減していく」との方針に沿って対応。

休業規模要件の特例的な緩和

	通常制度	コロナ特例
休業規模要件(中小企業)	休業(短時間休業を含む)の延べ日数が所定労働日数の1/20(5%)以上	休業(短時間休業を含む)の延べ日数が所定労働日数の1/40(2.5%)以上

業況特例等の対象となる中小企業が事業場内で最も低い時間給を一定以上引き上げる場合、地域別最低賃金が引き上がる10月から年末までの3か月間、**休業規模要件を問わずに支給**

(緊急雇用安定助成金(一般会計)で対応)



事業計画の見通しや予見可能性に配慮しつつ、最低賃金引上げに伴うコスト増の影響を緩和し、雇用維持を支援。

業務改善助成金の特例的な要件緩和・拡充

1. 特に業況の厳しい事業主 への特例

前年又は前々年比較で売上等 30%減

対象人数の拡大・助成上限額引上げ

現行では、賃金引上げ対象人数について、最大「7人以上」としているところ、最大「10人以上」のメニューを増設し、助成上限額を450万円から600万円へ拡大。

賃金引上げ労働者数	20円コース	30円コース	45円コース (新設)	60円コース	90円コース
1人	20万円	30万円	45万円	60万円	90万円
2～3人	30万円	50万円	70万円	90万円	150万円
4～6人	50万円	70万円	100万円	150万円	270万円
7～9人	70万円	100万円	150万円	230万円	450万円
10人以上(新設)	80万円	120万円	180万円	300万円	600万円

() コロナ禍で特に影響を受けている事業主(前年又は前々年比較で売上等 30%減)に加え、事業場内最低賃金900円未満の事業場も対象。

設備投資の範囲の拡充

現行では自動車(特種用途自動車を除く)やパソコン等の購入は対象外。コロナ禍の影響を受ける中であっても、賃金引上げ額を30円以上とする場合には、以下の通り、**生産性向上に資する自動車やパソコン等を補助対象に拡充。**

- ・ 乗車定員11人以上の自動車及び貨物自動車
- ・ パソコン、スマホ、タブレット等の端末及び周辺機器(新規導入)



2. 全事業主を対象とする特例

45円コースの新設

現行で最も活用されている30円と60円の間にも**45円コースを増設**。選択肢を増やすことで使い勝手が向上。

同一年度内の複数回申請

現行では、同一年度内の複数回受給を認めていないが、年度当初に助成金を活用し、賃上げを実施した事業場であっても、10月に最賃の引上げが行われ、再度賃上げを行うケースが想定されるため、**年度内の複数回申請を可能とする。** 5

事業再構築補助金・中小企業生産性革命推進事業の運用改善

1. 事業再構築補助金について

- ・業況が厳しく、最低賃金の引上げの影響を受ける中小企業を対象にした**特別枠を設定し、補助率をかさ上げ**。
- ・また、多くの従業員を雇用しているため、賃金引上げの影響を大きく受ける中小企業の投資ニーズに対応するため、**通常枠についても、従業員数に応じて補助上限額を見直し**。
- ・併せて、**運用の見直し(新規性要件の見直し等)**も検討。

【参考:事業再構築補助金(令和2年度3次補正:1兆1,485億円)の概要】

- ・ ウィズコロナ・ポストコロナの時代の経済社会の変化に対応するために、新たな製品で新たな市場に進出する「新分野展開」などの事業再構築の取組に意欲を有する中小企業の設備投資等を支援。

主な申請類型 (中小企業の場合)

類型	補助金額	補助率
緊急事態宣言特別枠	100万円～1,500万円 (従業員数によって上限額は異なる)	3/4
通常枠	100万円～6,000万円	2/3
卒業枠	100万円～1億円	2/3

2. 中小企業生産性革命推進事業について

- ・ **加点見直し、特別枠の新設等**により、より賃上効果の高い事業者の採択率の向上や、賃上げにコミットする事業者の優先採択を目指す。

【参考:中小企業生産性革命推進事業(令和元年度補正:3,600億円、令和2年度三次補正:2,300億円)の概要】

- ・ 人材不足等の構造変化や、働き方改革、インボイス導入など相次ぐ制度変更に対応するため、設備導入・販路開拓・ITツールの導入等、中小企業による生産性向上に係る取組を支援。
- ・ 通常枠(令和元年度補正)に加え、ポストコロナ等に対応したビジネスモデルへの転換に向けた取組(対人接触機会の減少、無人化等)については、低感染リスク型ビジネス枠(令和2年度三次補正)で支援。

補助上限・補助率 【補助対象経費】	通常枠 (令和元年度補正)	低感染リスク型ビジネス枠 (令和2年度三次補正)
ものづくり補助金 【設備導入費等】	1,000万円・ 1/2(小規模 2/3)	1,000万円・2/3
持続化補助金 【販路開拓費等】	50万円・2/3	100万円()・3/4 感染防止対策費も一部支援
IT導入補助金 【ITツール導入費等】	450万円・1/2	450万円()・2/3 テレワーク対応類型は150万円

下請取引の適正化

1. パートナーシップ構築宣言

- 価格決定方法等の取引適正化に重点的に取り組むことを企業が宣言する「パートナーシップ構築宣言」を推進。
7月15日現在で1,250社が宣言。
- 今年度中に2,000社の宣言数となるよう、更なる利用拡大を図る。

2. 「価格交渉促進月間」

- 最低賃金の改定を含む労務費や原材料費等の上昇などが、下請価格に適切に反映されることを促すため、9月を、積極的に価格交渉を行う「価格交渉促進月間」として設定し、親事業者に対して価格交渉に応じることを促す。
- 下請Gメンによるヒアリングを重点的に実施し、親事業者が価格交渉に応じているか等の結果をとりまとめ・公表する。
- その他、下請事業者向けに価格交渉に関する講習・研修などを開催するとともに、相談対応を行う。

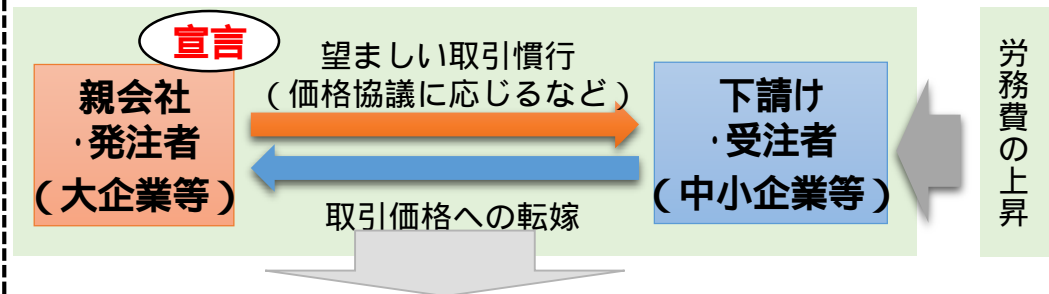
3. 官公需

- 率先垂範の立場から、官公庁は、官公需の受注事業者との契約金額について、最低賃金引上げによる契約金額の見直しの必要性を、受注事業者からの見直し申し出の有無に関わらず、確認する。
- この方針を、「官公需に関する関係府省等副大臣会議」(7月19日)において、関係省庁の副大臣級でも確認。

「パートナーシップ構築宣言」について

- 取引先との新たなパートナーシップ構築を宣言し、
- (1) サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携(企業間連携、IT実装支等)
 - (2) 取引適正化の重点5分野(価格決定方法、型管理の適正化、現金払の原則の徹底、知財・ノウハウの保護、働き方改革に伴うしわ寄せ防止)
- に重点的に取り組むことを、「代表権のある者の名前」で宣言。

本年度中に宣言企業数2,000社を目指す。



パートナーシップの構築による中小企業の生産性向上